

統計数理研究所  
研究レポート60

# 国民性の研究 第7回全国調査

—1983年全国調査—

1984年11月

統計数理研究所

当研究所では、現在 *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* と統計数理研究所彙報とを発行している。このレポートは研究調査のデータの発表を目的とし必要に応じて発行する。

ALL RIGHTS RESERVED.

NO PART OF THIS PUBLICATION MAY BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS, ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY, RECORDING, OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM, WITHOUT PERMISSION IN WRITING FROM THE INSTITUTE.

統 計 数 理 研 究 所

東京都港区南麻布4丁目6-7

電 話 4 4 6 - 1 5 0 1

# 目 次

I	概 要	1
§ 1	研究の経過	1
§ 2	調査実施の概要	3
§ 3	感謝のことば	8
§ 4	文献と資料	9
II	質問文と集計表	19
	集計表の見方	19
§ 1	基本項目	21
§ 2	個人的態度	29
§ 3	宗 教	44
§ 4	子 供 ・ 家	48
§ 5	身近な社会	54
§ 6	男 女 差 別	64
§ 7	一般の社会的問題	65
§ 8	政治的態度	76
§ 9	日本人・人種	79
III	質問項目一覧表	81

# I 概 要

このレポートは、統計数理研究所の国民性調査委員会が5年ごとに実施している「国民性調査」の第7回全国調査（1983年秋実施）の結果を、単純集計の形でまとめたものである。

比較のため、今回調査した質問項目に関する過去の結果も掲げてある。分析結果は、統計数理研究所の『彙報』、『Annals』などに発表される。

## § 1 研究の経過

### 1. 研究経過

国民性の研究は1953年（昭和28年）に第1回の全国調査を行い、以後5年ごとに全国調査を反復している。したがって、今回（1983年）は7回目になる。

これらの全国調査はすべて全国民（20歳以上の有権者）を対象にする標本調査であり、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングで3,000～6,000名の対象者を抽出し、個別面接聴取法で調査している。調査項目は毎回50項目前後であり、共通して使用している質問が多いが、1973年の第5回調査以後の調査では、従来から継続している調査項目を主とする調査票（K型とよぶ）と新規の調査項目に重きを置く調査票（M型とよぶ）との2種類の調査票を用いてきた。

なお、5年ごとの全国調査のほかに関連する多くの調査をおこなっている。これらの調査もそれぞれ独立の調査であると同時に、相互に比較・参照できるように企画されている。

今回の調査に関連しては、1984年2月に、新しい価値意識を探る目的の調査を関東地方に限って行なった。また1983年8月～10月には、国際比較研究のための、第3回ハワイ・ホノルル調査を実施した。

## 2. 調査方法と調査項目の選定

この「日本人の国民性」の研究では、国民自身の考え方を、世論を調べるのと同様な調査方法で調べている。調査項目は、調査方法（面接調査）による制約はあるが、広い範囲から国民性の特徴をよく表わす題材を選ぶようにしている。調査項目の選定手順の概略は、つぎのようである。

まず、国民性に関して言及している内外の文献や資料から、日本人の性質、態度、特徴とみられるものを収集し整理する。つぎに、これらの事項から面接調査に適するような質問項目を作成する。最後に質問全体の構成を吟味して、調査票にまとめあげる。

質問項目は、各種のプリテストや吟味調査により検討を加えるとともに、何回もくり返して調査に用い、その性質を確かめるように努めている。

## 3. 第7回全国調査の調査項目

今回の調査のねらいは大別して2つある。第一は、30年来の継続質問によって、日本人のものの考え方の変化の様相を明らかにすることであり、第二は、従来との継続を図りながら、将来の新しい動向を探り、それに備えることである。

なお、今回の調査では、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、両者とも、従来の継続質問と新しい質問の双方を含んでいる。ただし、K型調査票はM型に比べると継続質問の割合がやや多くなっている。

K型とM型におけるのは、一人の対象者にかかる負担（面接時間の長さ）を軽減するための処置である。したがって、継続質問の中で、特に重要な質問は、K型とM型の両方に組入れてある。

調査に当たっては、サンプル全体の半分にK型を用い、残りの半分にはM型を用いた。

## § 2 調査実施の概要

### 1. サンプル

全国の市区町村を、地方性および人口規模を考慮して層別し、各層より合計300地点を選ぶものとし、まず市区町村を確率比例抽出で選ぶ（第1段のサンプリング）。ついで、選んだ各市町村から投票区を同じように確率比例抽出で選ぶ（第2段サンプリング）。最後に、抽出した投票区の有権者名簿より、その地点に割り当てた人数（平均20）のサンプルを等間隔抽出で選んだ（第3段サンプリング）。計画サンプル数は全国で6,000人である。（表1 層別のあらましを参照）

### 2. 調査票の種類

抽出した対象者6,000人に対し、名簿上の順序に従ってK型とM型の調査票を交互に使用するように計画した。すなわち、どの地点でも、ほぼ1/2の人数にK型を用い、他のほぼ1/2の人数に対してはM型で調査を行なった。

### 3. 調査の実施

全国36大学の先生方の協力により、1983年9月～12月の期間に実施した。

まず、全国300の調査地点を各大学に割り当て、それらの大学に研究者が出張して、各大学で調査員となる学生に対して直接調査の説明を行った。調査員は、最初に担当地点の市・区役所、町・村役場にいき、指示された方法で選挙人名簿からサンプルを抽出する。（地点当たり平均20人。）つぎに、サンプルとなった対象者の家を訪問し、対象者本人に会って、調査票どおりの質問をし、対象者の回答を調査票に記録する（個別面接法）。担当地点の調査が終了したら（およそ、1週間を要する）、調査票を各大学の指導者の先生に提出し点検を受ける。このあと、調査票は一括して研究所に返送され、再度点検される。この結果、最終集計人数はK型調査票2,256人、M型調査票2,173人、合計4,429人で、これは計画全サンプル6,000人の74%に当る。

なお、調査不能の詳細は表2、表3、表4に示してあるので、それを参照されたい。

表1 第7回調査の層別のあらし

		有権者数 (千人)	地点数	市町村数	割当サ ンプル数	
全 国	6大都市	東京23区……………	6094.7	22	23	441
		横浜市……………	1984.8	7	14	144
		名古屋市……………	1451.2	5	16	105
		京都市……………	1050.0	4	11	76
		大阪市……………	1881.3	7	26	136
		神戸市……………	911.9	3	8	66
	市部……………	48921.3	177	662	3539	
	郡部	北海道地方……………	1122.3	4	180	81
		東北地方……………	2775.9	10	342	201
		関東地方……………	3393.2	12	308	245
		北陸地方(新潟, 富山, 石川, …… 福井, 滋賀)	1704.6	6	222	123
		中部地方(山梨, 長野)……………	879.3	3	162	64
		東海地方(岐阜, 愛知, 静岡)……………	1773.9	6	198	128
		近畿地方(三重, 奈良, 和歌山, …… 京都, 大阪, 兵庫)	2044.5	8	253	147
		中国地方……………	1704.2	6	271	123
		四国地方……………	1226.0	5	186	89
		九州地方……………	3296.2	12	439	239
	沖縄県……………	729.1	3	53	53	
	計		82944.4	300	3374	6000

\* 6 大都市については区数

表2 調査不能の理由

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
K	%	1	10	2	2	9	7	28	34	5	3	100
	実数	7	79	15	18	71	54	225	277	43	22	811
M	%	1	8	2	3	7	9	31	33	4	2	100
	実数	4	63	17	21	56	66	237	251	32	13	760
計	%	1	9	2	2	8	8	29	34	5	2	100
	実数	11	142	32	39	127	120	462	528	75	35	1,571

4. 日程のあらまし (全国調査)

1983年      6月      調査の層別と調査地点の決定  
               7月      質問項目決定  
               8月      各大学に調査地点割当て，協力大学と連絡  
               9～12月      調査の実施  
 1984年    1～2月      調査結果のチェック  
               3月      基本項目集計完了



表3 性別・年齢別サンプル・不能率

	性別		年齢別											計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 才 以上		
K	集計 サンプル	988	1,268	199	211	261	250	245	267	230	183	134	111	165	2,256
	不能 サンプル	449	362	115	76	112	98	74	67	66	35	46	44	78	811
	不能率	31	22	37	26	30	28	23	20	22	16	26	28	32	26
	計画 サンプル	1,437	1,630	314	287	373	348	319	334	296	218	180	155	243	3,067
	%	47	53	10	9	12	11	10	11	10	7	6	5	8	100
1980年国調 20才以上	48	52	9	9	12	11	10	10	9	8	6	5	10	100	

	性別		年齢別											計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 才 以上		
M	集計 サンプル	976	1,197	195	193	274	244	228	240	213	187	138	116	145	2,173
	不能 サンプル	448	312	110	82	90	72	80	76	73	45	35	22	75	760
	不能率	31	21	36	30	25	23	26	24	26	19	20	16	34	26
	計画 サンプル	1,424	1,509	305	275	364	316	308	316	286	232	173	138	220	2,933
	%	49	51	10	9	12	11	11	11	10	8	6	5	8	100
1980年国調 20才以上	48	52	9	9	12	11	10	10	9	8	6	5	10	100	

	性別		年齢別											計	
	男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 才 以上		
K +	集計 サンプル	1,964	2,465	394	404	535	494	473	507	443	370	272	227	310	4,429
	不能 サンプル	897	674	225	158	202	170	154	143	139	80	81	66	153	1,571
	不能率	31	21	36	28	27	26	25	22	24	18	23	23	33	26
	計画 サンプル	2,861	3,139	619	562	737	664	627	650	582	450	353	293	463	6,000
	%	48	52	10	9	12	11	10	11	10	8	6	5	8	100
1980年国調 20才以上	48	52	9	9	12	11	10	10	9	8	6	5	10	100	

表 4 地方・市郡別調査不能率

地 方 別*												
	K				M				K + M			
	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率
北 海 道	146	95	51	35	140	98	42	30	286	193	93	33
東 北	258	212	46	18	243	181	62	26	501	393	108	22
関 東	910	655	255	28	881	616	265	30	1,791	1,271	520	29
中 部 (東)	229	178	51	22	221	170	51	23	450	348	102	23
中 部 (西)	298	231	67	22	279	225	54	19	577	456	121	21
近 畿	541	376	165	30	513	373	140	27	1,054	749	305	29
中 国	207	154	53	26	199	156	43	22	406	310	96	24
四 国	115	97	18	16	107	93	14	13	222	190	32	14
九 州	363	258	105	29	350	261	89	25	713	519	194	27
計	3,067	2,256	811	26	2,933	2,173	760	26	6,000	4,429	1,571	26

\*沖繩は九州に含めてある。

市 郡 別												
	K				M				K + M			
	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率	計 画 サ ン プ ル	集 計 サ ン プ ル	不 能 サ ン プ ル	不 能 率
6 大都市	493	309	184	37	475	315	160	34	968	624	344	36
人口50万 以上の市	266	170	96	36	253	180	73	29	519	350	169	33
人口20～ 50万の市	618	459	159	26	586	437	149	25	1,204	896	308	26
人口10～ 20万の市	327	263	64	20	315	239	76	24	642	502	140	22
人口5～ 10万の市	432	327	105	24	410	304	106	26	842	631	211	25
人口5万 未満の市	195	156	39	20	190	148	42	22	385	304	81	21
町 村	736	572	164	22	704	550	154	22	1,440	1,122	318	22
計	3,067	2,256	811	26	2,933	2,173	760	26	6,000	4,429	1,571	26

### § 3 感謝のことば

第7回全国調査を実施するに当たり、全国各地の大学の先生方および学生諸君の協力を得た。ここに、先生方のお名前をあげて厚くお礼を申しあげます。

(敬称は略します。所属は調査実施時のもの。)

三谷鉄夫(北海道大)、高橋宏一(弘前大)、諸昌隆(岩手大)、村瀬隆二(宮城教育大)、石原敏道(山形大)、菊池章夫(福島大)、上笹恒(筑波大)、岸田孝弥(高崎経済大)、間藤侑(新潟大)、柳井晴夫(千葉大)、西真平(埼玉大)、太田雅夫(金沢大)、松田隆夫(信州大)、林部敬吉(静岡大)、返田健(岐阜大)、村上隆(名古屋大)、牧野義隆(中京大)、織田揮準(三重大)、小嶋外弘(同志社大)、土井聖陽(関西大)、辻本英夫(大阪市立大)、小石寛文(神戸大)、岩脇三良(兵庫教育大)、速水敏彦(大阪教育大)、猪股佐登留(島根大)、脇本和昌(岡山大)、黒川正流(広島大)、佐野勝徳(徳島大)、渡辺弘純(愛媛大)、大屋祐雪(九州大)、松浦勲(長崎大)、永井博(熊本大)、高橋政明、井上佳朗(鹿児島大)、前原潤(琉球大)

また、東京地区では、次の諸先生のご支援をいただいた。

岡本奎六(成城大)、山岡淳、巖島行雄(日本大)、池田央(立教大)、三井宏隆(慶応大)、牛沢賢二(産業能率大)、山本真理子、台喜一(都立大)、斉藤耕二(東京学芸大)

さらに、大都市部における追跡調査では、次の方々のご協力をいただいた。黒須俊夫(宮城教育大)、西河正行(慶応大)

このほか、調査実施の準備や実施後のデータ処理において、ご協力いただいた方々も多い。なかでも、調査の全面において、中野美奈子さんのご尽力に負うところが大きかった。

以上のように、第7回調査も、所内外の多くの方々のご助力によって、終えることができた。ここに重ねて、厚くお礼を申しあげます。

なお、今回の調査委員は、林知己夫、鈴木達三、鈴木義一郎、水野欽司、坂元慶行、村上征勝、中村隆、川合伸幸(以上、統計数理研究所)、西平重喜(上智大)である。

#### § 4 文献と資料

この研究について、すでに印刷されたものは次のとおりである。

1. 林知己夫：「国民性の研究」**教育統計** 第30号，1954年，文部省調査局。
2. 林 他：「わが国国民性の統計数理的研究」**日本統計学会年報** 1953年。
3. C. Hayashi *et al.* : A Study of Japanese National Character. *Ann-Inst. Statist. Math, Sup. I* , 1959.
4. 「国民性の研究」**数研研究レポート** No.5, 6, 1959年。
5. 「岐阜吟味調査」**数研研究レポート** No. 7, 1960年。
6. 西平重喜：「日本人のものの考え方」**経済評論** 1959年 8月臨時増刊号。
7. 林知己夫：「日本人の国民性」**自由** 1960年 1月号。
8. 西平重喜，鈴木達三：「わが国民性の統計的研究第2次調査」**日本統計学会年報** 1959年。
9. Research Committee: A Study of the Japanese National Character — part II —. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. II, 1960.
10. 統計数理研究所国民性調査委員会：**日本人の国民性** 至誠堂 1961年 8月。
11. 西平重喜：**日本人の意見** 誠信書房 1963年。
12. 「岐阜調査 1963」**数研研究レポート** No.8, 1963年。
13. 鈴木達三：「国民性の研究——第Ⅲ次全国調査について」**統計数理研究所彙報** 第11巻 2号，1964年。
14. 「国民性の研究」第Ⅲ次調査，**数研研究レポート** No.11, 1964年。
15. 「成年の常識」**数研研究レポート** No.12, 1964年。
16. 鈴木達三：「日本人は変わったか」**自由** 1964年10月号。
17. Research Committee: A Study of the Japanese National Character, The Third Survey. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. N, 1966.
18. 林，西平，鈴木：**図説 日本人の国民性** 至誠堂 1965年 5月。
19. 「国民性の研究」1965年調査，**数研研究レポート** No.14, 1966年。
20. 林，鈴木：「日本人の自画像」**自由** 1967年 1月号。
21. 鈴木達三：「日本人の国民性・ものの考え方」**統計** 1968年 2月号。
22. 「宗教調査——1968年，国際比較——」**数研研究レポート** No.21, 1969年。

23. 西平重喜：「日本人の宗教的態度と国際比較」**布教** 1969年6月号，7月号。
24. 「国民性の研究」第4回全国調査，**数研研究レポート** No.23，1969年。
25. 「国民性の研究」1969年岐阜パネル調査・面接調査と自記式調査の比較，**数研研究レポート** No.24，1969年。
26. 林知己夫：「日本人の国民像——15年の変化」**自由** 1969年7月号。
27. 西平重喜：「15年間の意見の変化——国民性第Ⅳ次調査より」**国民生活研究** 1969年7月号。
28. S. Nishihira: Les Attitudes des Japonais envers la religion. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 1970.
29. T. Suzuki: A Study of the Japanese National Character — part Ⅳ—. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 1970.
30. 林知己夫：「断絶する政党と国民の政治意識」**自由** 1970年2月号。
31. 西平重喜：「国民性の変化」**第20回新聞広告ゼミナール講演集** 全日本新聞広告会。
32. 統計数理研究所国民性調査委員会：**第2日本人の国民性** 至誠堂 1970年。
33. 西平重喜：「国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方」**TVVレポート** No.67，1970年。
34. 青山博次郎：「日本人——統計から見た特性」**毎日夫人** 1971年5月号。
35. 鈴木達三：「ハワイにおける日系人」**学術月報** 1972年2月号。
36. T. Suzuki *et al.*: A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 7, 1972.
37. 林知己夫：「比較研究のむずかしさ」**共同通信** 1972年7月5日号。
38. C. Hayashi: The Japanese National Character **第20回国際心理学会** LS, 7-1, 1972年。
39. 林知己夫：「日本人の国民性について」**サンケイ新聞** 1972年8月25日号。
40. 西平重喜：「西洋人は宗教についてどう考えているか」**宗務時報** No.29，1972年。
41. 林，西平，野元，鈴木：**比較日本人論** 中央公論社 1973年。
42. 西平重喜：「日本人の国民性について」**心と社会** Vol.4, No.1, 1973年。

43. 鈴木達三：「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅠ」**統計数理研究所彙報** 第21巻2号, 1973年.
44. 「ハワイにおける日系人」**数研研究レポート** No.33, 1973年.
45. 坂元慶行：「公共意識と個人の権利意識」**AD.R** 63号 (協和広告) 1973年.
46. 林知己夫：「日本人の科学文明観」**内外教育** 1974年5月24日号.
47. 林知己夫：「日本人はどのように変わったか——国民性の調査から」**町村週報** 1165号, 1974年6月.
48. 林知己夫：「日本人の心のヒダ」**朝日新聞** 1974年6月17日夕刊.
49. 鈴木達三：「日本人の国民性20年の変遷」(電通) **モチベーションリサーチ研究会定例研究会レポート** No.12, 1974年6月.
50. 林知己夫：「現代若者の職場意識」**あすへの力** No.62 神奈川県青少年育成課, 1974年7月.
51. C. Hayashi and T. Suzuki: Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part I. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.26, No.3, 1974, 455-516. Part II. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.27, No.1, 1975, 1-32.
52. C. Hayashi: Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys. *Journal of Asian and African Studies*, X, 1-2, 1974, 75-85.
53. 西平重喜：「変わった国民性 変らない国民性」**自由** 1974年8月号.
54. S. Nisihira: Changed and Unchanged Characteristics of the Japanese. *Japan Echo*, Vol.1, No.2, 1974, 22-32.
55. 林知己夫：「日本人の国民性をめぐって」**教育と医学** 1974年10月号.
56. 林知己夫：「社会と統計」**放送大学テキスト** 日本短波放送, 1974年.
57. 林知己夫：「相互理解の構造」**青淵** 1974年10月号.
58. 林知己夫：「義理と人情」**にんげん百科** 59, 1974年10月21日号.
59. 林知己夫：「日本人は健全である——国民性調査20年で明らかにされた真実」**正論** 1974年12月号.
60. 林知己夫：「日本人の心は変わったか——調査からみた日本人の国民性」**日本人研究** No.1, 1974年.
61. 西平重喜：「政治についての世論の変化——20年史」**日本人研究** No.1,

- 1974年.
62. 鈴木達三：「国民性国際比較の方法——日本人とハワイ日系人の比較から」**日本人研究** No.1, 1974年.
  63. 林知己夫：「日本人の偉人観」**歴史と旅** 1974年12月号.
  64. 林知己夫：「日本人の価値観」**自治研修** 1974年12月号.
  65. 「国民性の研究」第5回全国調査，**数研研究レポート** No.38, 1974年.
  66. 林知己夫：「統計で日本人の心を描く」**日立** 1975年2月号.
  67. 鈴木達三：「比較文化研究の問題」**数理科学** No.141, 1975年3月号.
  68. 西平重喜：「日本人の宗教的態度の変化」**布教** 29巻3号, 1975年.
  69. 坂元慶行：「戦後日本の経済と人間の意識構造」**週刊東洋経済** 1975年4月24日臨時増刊号.
  70. Y. Sakamoto: A Study of the Japanese National Character — part V —. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 8, 1975.
  71. 林知己夫：「日本人の勤労観」**毎日テープレクチャー** 1975年.
  72. 林知己夫：「日本人の意識は支持政党によりどうちがうか」**日本人研究** II 至誠堂, 1975年.
  73. 統計数理研究所国民性調査委員会：第3**日本人の国民性** 至誠堂, 1975年.
  74. 林知己夫：「日本人の生きがいについて」**貯蓄時報** No.106, 1975年12月号.
  75. 林知己夫：「変わる思想・変わらぬ思想」**信濃毎日** 1976年1月1日.
  76. 鈴木達三：「思想（意見）と年齢」**数理科学** 1976年1月号.
  77. 林知己夫：「調査は何を物語るか」**スチールデザイン** 154号, 1976年.
  78. 鈴木達三：「地域開発，地域社会に関する世論」**日本地域開発センター報告書** 1976年.
  79. 林知己夫：「日本人の考え方はどう変わったか」**日本文化会議月例懇談会収録集** No.85, 1976年.
  80. 林知己夫：「世論をどうつかまえるか」**日本人研究** IV, 1976年.
  81. 林知己夫：「比較研究ということ」**統計** 1976年10月号.
  82. C. Hayashi: Changes in Japanese Thought during the Past Twenty Years. **日本人研究会アメリカセミナーレポート** 1977年.

83. 林知己夫：「世論調査の発展と現状」輿論科学協会編，**世論調査の現状と課題** 至誠堂，1977年。
84. 林知己夫：「価値観，にっぽん 1895-1977」**週刊東洋経済** 4001号，1977年。
85. 林知己夫：「計量的日本人論」**文化庁月報** No.105，1977年6月号。
86. 林知己夫：「日本人の対外国態度と対外国人態度」**日本人研究** V，1977年。
87. T. Suzuki and T. Jitodai: Migration and Prefectural Identification in Four Japanese Prefectures. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Series B, Vol. 29, No.3, 1977.
88. T. Suzuki and Y. Kuroda: A Note on Immigrants to Hawaii. Migration Research Series No.1, in *A Comparative Sociological Study on the Adaptation and Attitude Change of Asian Emigrants*, Dept. of Sociology, The University of Tsukuba, December 1977, pp. 30-39.
89. C. Hayashi: Japanese Attitude and Party Preference (日本人研究Ⅱの翻訳) *Japan Echo*, Vol. V, Special Issue, 1978.
90. 林知己夫：「日本人の対外国態度」**正論** 1978年4月号。
91. 林知己夫：「革新政党の伸びる条件」**Voice** 1978年4月号。
92. 西平重喜：**世論反映の方法** (第Ⅱ部第1章，日本人の国民性) 誠信書房，1978年。
93. 林知己夫：「国民性」**実験心理学研究** 17巻2号，1978年
94. C. Hayashi: Nationality, Social Psychology in Japan. Dep. of Social Psychology Osaka Univ., 1978年。
95. Y. Kuroda, T. Suzuki and C. Hayashi: A Cross-National Analysis of the Japanese Character among Japanese-Americans in Honolulu, *Ethnicity*, Vol.5, 42-59, 1978年。
96. 林知己夫：「日本人のグループダイナミックス」三隅二不二編 **グループダイナミックス** 旺文社 1978年。
97. 林知己夫：「政治意識の生態」**朝日新聞** 1978年12月16日夕刊。
98. 「国民性の研究」第6回全国調査，**数研研究レポート** No.46，1979年。
99. 林知己夫：「戦後日本人の意識はどう変わったか——『伝統保守』へのU



- ターンと“新型日本人”の出現」朝日ジャーナル 1979年 8月17・24日合併号。
100. 林知己夫：「都会人の自然観をめぐって——自然のあり方を考えるに際して——」グリーンエイジ（財）日本緑化センター 1979年 9月号。
  101. 林知己夫：「若い者は何をどう考えているか——国民性調査から——」教育委員会月報 1979年10月号。
  102. 林知己夫：「現代日本人の意識」自警 1979年12月号。
  103. 鈴木達三：「いつ日本人は勤勉でなくなるか」文化会議 1979年 7月号。
  104. 林知己夫，鈴木達三：「比較文化における統計的手法の確立」（ハワイにおける日系人・非日系人調査）数研研究レポート No.47, 1979年。
  105. T. Suzuki: Honolulu Residents and Their Attitudes in Multi-ethnic Perspective Toward a Theory of the American National Character, by Research Committee on the Study of Honolulu Residents, *The ISM Monograph 1*, Feb. 1980, Distributed by The University Press of Hawaii.
  106. 林知己夫：「日本人の自然観——心を探る統計的方法——」（講演概要）新大広報 1980年。
  107. T. Suzuki: Age, sex and cohort: explicating social changes in post-war Japan, *Kyoto American studies summer seminar*, Doshisha University, (with Leghorn, R.), 1980.
  108. 林知己夫：「比較研究における方法論」（トヨタ財団 第7回助成研究報告資料，日本人とアメリカ人——比較研究の意義・方法・可能性）1980年 2月。
  109. 鈴木達三：「アメリカ人の価値意識」（同上）1980年 2月。
  110. T. Suzuki: Pitfalls in cross-cultural survey research: comparative study of value systems in Japan and the United States, *The Japanese and the Americans: methodology and possibilities of international comparative studies*, Toyota Foundation, 1980.
  111. 林知己夫：「政治意識の感情構造と無党派層」（社）民主主義研究会報告書）1980年 3月。
  112. C. Hayashi: Data analysis in a comparative study. *Data Analysis*

- and Information*, E. Diday *et al.* (eds), North-Holland Publishing Company, 1980.
113. 林知己夫：「心にとって加齢とは何か」**日本老年医学会雑誌** 第17巻2号，1980年。
  114. 林知己夫：「日本人の意識の底を探る試み——お化けへの関心——」**数理科学** No.204, 1980年 6月号。
  115. 林知己夫：「若者の心の流れ」**更生保護**（法務省保護局編）1980年 7月。
  116. 林知己夫：「多元化社会の生活関心」（多元化社会の生活関心研究グループ）大平総理の政策研究会報告書—— 9, 1980年。
  117. 林知己夫：「多元化社会の青少年」**教育委員会月報** No.362, 1980年10月号。
  118. 西平重喜：「日本人の考え方の変化」**自由** 22巻 9号, 1980年。
  119. 水野欽司：「'暮らし' 意識の動き——日本人の国民性調査から」**統計** 1980年 5月号。
  120. 西平重喜：「日本人は宗教をどう考えているか」**宗務時報** No.55, 1980年。
  121. 水野欽司：「日本人の価値観を探る——第 6 回・国民性調査から」自治研修叢書 **公務員の倫理と価値観** 第一法規, 1981年。
  122. 林知己夫：「社会的態度基底構造についての国際比較方法の標準化に関する研究」**数研研究レポート** No.54, 1981年。
  123. 林知己夫：「国民性の比較研究——国際比較研究の問題点——」**日本文化の国際性と国際化の研究** 昭和55年度 放送開発センター, 1981年。
  124. 林知己夫：**日本人研究三十年** 至誠堂選書, 1981年。
  125. 鈴木達三：「“ものの考え方” の変化と現代」**サイコロジー** 1982年 1月号。
  126. 林知己夫：「考え方の筋道による国際比較」**現代社会心理学の発展** I（第 7 章 2）ナカニシヤ出版, 1982年。
  127. 林知己夫：「日本人論について」**文化と人間**（講座現代の心理学, 第 6 章）小学館, 1982年。
  128. 林知己夫, 馬場正人, 岡本宏：**日本人の政治感覚**（日本人研究 6）出

- 光書店, 1982年.
129. 林知己夫:「日本人の生きがいの変遷」**教育と医学** 4月号, 1982年.
  130. 林知己夫, 米沢弘: **日本人の深層意識** 日本放送出版協会, 1982年.
  131. 林知己夫:「計量的国民性研究の立場」**学術月報** Vol.35, No.3, 1982年.
  132. 林知己夫:「法意識の底にあるものを求めて」日本文化会議編 **現代日本人の法意識** 第一法規, 1982年.
  133. 林知己夫:「敬う」(特集——日本人像——) **月刊NIRA** 9月号, 1982年.
  134. 林知己夫, 蘆山貞登編: **日本と東南アジアの文化摩擦**, 出光書店, 1982年.
  135. 鈴木達三:「国際比較の方法 日本人とアメリカ人」**数理科学** 8月号, 1982年.
  136. 鈴木達三, 中村隆:「継続調査の二次分析」**数研研究レポート** No.56, 1982年.
  137. 鈴木達三, 中村隆:「マーケティングの新しい手法コウホート分析(上)」**DIAMONDハーバード・ビジネス** 第7巻第4号, 1982年.
  138. 鈴木達三, 中村隆:「注目されるコウホート分析(下)」**DIAMONDハーバード・ビジネス** 第7巻第5号, 1982年.
  139. 中村隆:「ベイズ型コウホート・モデル——標準コウホート表への適用——」**統計数理研究所彙報** 29巻2号, 1982年.
  140. 中村隆:「新しいコウホート分析について(1)~(3)」**中央調査報** No.297~299, 1982年.
  141. 統計数理研究所国民性調査委員会: **第4日本人の国民性**, 出光書店, 1982年.
  142. 林知己夫:「女の意見の特色」(日本人研究7), 出光書店, 1983年.
  143. 林知己夫:「日本人論と行動計量学」**行動計量学** 10巻1号, 1983年.
  144. 林知己夫:「日本人の健康観」**労働衛生** 7月号, 1983年.
  145. Chikio Hayashi:「International Understanding through Broadcasting and the Basic Structure of the Social Behavior of People」**HBF News Letter**, ISSUE No.16, May, 1983年.
  146. 鈴木達三:「コウホート分析——継続調査データの組織的利用法——」

マーケティング・リサーチャー No.30, 1983年.

147. 鈴木達三, 中村隆:「社会調査データの集積化と二次分析」**数研研究リポート** No.58, 1983年.
148. 中村隆:「女性の意見の世代差」(日本人研究7) 出光書店, 1983年.
149. 坂元慶行:「日本人の国民性」**文化のなかの人間**(発達心理学への招待7), 新曜社; 1983年.
150. 坂元慶行:「日本における意識動向の新たな断面—人間関係観を中心として—」**統計数理研究所彙報** 31巻2号, 1984年.
151. 「国民性の研究」第7回全国調査, **数研研究リポート**No.60, 1984年.

## Ⅱ 質問文と集計表

### 集計表の見方

1. ここには、1983年の第7回全国調査で使用した質問の全文とその集計表を収録してある。収録順は\$、#番号順になっている。また、第7回以前の質問項目で、今回の質問と特に関連のあるものについては、参考までに数字をのせた。
2. 単純集計表には比較のため第1回～第7回の全国調査の結果を示した。

略 称	説 明
I (1953)	1953年(昭和28年)実施の第1回全国調査の結果を示す。
II (1958)	1958年(昭和33年)実施の第2回全国調査の結果を示す。
III (1963)	1963年(昭和38年)実施の第3回全国調査の結果を示す。
IV (1968)	1968年(昭和43年)実施の第4回全国調査の結果を示す。
V (1973)	1973年(昭和48年)実施の第5回全国調査の結果を示す。
VI (1978)	1978年(昭和53年)実施の第6回全国調査の結果を示す。
VII (1983)	1983年(昭和58年、今回)実施の第7回全国調査の結果を示す。

なお第Ⅴ次～第Ⅶ次調査のKというのは、前述のように過去との比較に重きをおいた調査票(第Ⅶ次では黄色表紙)の集計結果、およびその質問番号をあらわし、Mは将来のために改良または新設した質問を主とした調査票(第Ⅶ次では水色表紙)の集計結果と質問番号を示す。

また第Ⅱ次調査も調査票を2種づくり、一方は問1から、他方は問101から始まっている。

問の欄の×印は、そのときは質問していないことを示す。

3. 集計表にあげられた選択肢のうちD. K. (Don't know) は「わからない」の意味であるが、われわれは、これを少し広くとり、調査員につきのように指示しておいた。

サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえして見て、それでもわからないようならD. K. (Don't know) とすること。質問の内容は、だれでもわかるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあるが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、無答の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いかえたりしないこと。また、サンプルが質問に対して判断する力がないもの、あるいは、その質問の答を拒否したものをさすこと。(理由をいわずに“なんともいえない”とか2、3回質問をくり返してみても“さあ、わかりません”といったものを含む)。

4. 質問文の体裁は調査票に印刷した通りである。回答記入欄も調査票の通りである。リスト(回答選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に【リスト】とある。なお、リストには回答選択肢のみ印刷し、その他、D. K. は入っていない。
5. 集計表の数字は%を示すもので、第Ⅰ次から第Ⅶ次までのすべての結果について、小数点以下を4捨5入してある。したがって、全選択肢の%を加算した値が、表面上100にならない場合がある。

なお、この報告書以前に発表した第Ⅵ次までの集計表では、%の合計が100になるよう調整したが、今回はそれを行っていない。そのため、質問によっては、過去に発表した第Ⅵ次までの集計表の%の値と、わずかに異なるものがあるので、注意されたい。

6. 集計表の計の欄の( )は、集計に用いたサンプルの人数である。

## § 1 基本項目

# 1. 1 性

# 1. 2 年 齡

	問	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
		男	女	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
				}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	以	
				24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	上	
I(1953)	1	47	53	19	15	12	11	10	8	9	6	5	3	3	100(2,254)
II(1958)	<sup>1</sup> 101	46	54	15	14	14	10	11	8	7	7	6	4	4	100(2,369)
III(1963)	○	46	54	13	13	14	12	10	9	9	6	6	4	4	100(2,698)
IV(1968)	○	47	53	12	13	13	13	11	8	7	7	6	4	4	100(3,033)
V(1973)	K+M	45	55	14	11	12	12	12	10	8	7	5	4	5	100(4,594)
	K	46	54	14	12	12	12	12	10	7	7	5	4	5	100(3,055)
	M	43	57	13	11	12	13	12	10	9	7	5	4	5	100(1,539)
VI(1978)	K+M	44	56	10	12	12	12	11	11	8	7	6	5	7	100(3,945)
	K	44	56	9	12	12	13	11	11	9	7	5	5	7	100(2,032)
	M	43	57	10	12	13	10	11	11	8	7	7	4	6	100(1,913)
VII(1983)	K+M	44	56	9	9	12	11	11	11	10	8	6	5	7	100(4,429)
	K	44	56	9	9	12	11	11	11	10	8	6	5	7	100(2,256)
	M	45	55	9	9	13	11	10	11	10	9	6	5	7	100(2,173)

### # 1.3 学 歴

〔学歴〕 あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

- 1 小学校〔学歴なしをふくむ〕
- 2 新制中学〔旧制高等小学〕
- 3 新制高校〔工（商）業高校〕・旧制中学校〔中学校，工（商）業学校，（高等）女学校〕
- 4 大学，短大，高専〔旧制高等学校，工（商）業専門，高等工（商）業〕
- 5 その他〔1～4のどれに当るか分からないときは校名記入〕

	問	1 小 学	2 中 学	3 高 校	4 大 学	5 他	計
I (1953)	55	33	35	24	6	2	100(2,254)
II (1958)	32a 132a	31	37	24	7	1	100(2,369)
III (1963)	○	21	41	29	8	1	100(2,698)
IV (1968)	○	16	40	34	10	0	100(3,033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100(4,594)
	K	15	30	42	11	2	100(3,055)
	M 29	14	31	40	13	2	100(1,539)
VI (1978)	K+M	10	32	40	16	2	100(3,945)
	K	10	32	41	15	2	100(2,032)
	M	11	32	39	17	1	100(1,913)
VII (1983)	K+M	8	29	43	19	1	100(4,429)
	K	8	29	43	19	1	100(2,256)
	M	9	29	43	18	1	100(2,173)



# 1. 4 職 業

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		専 門 技 術	管 理	大 企 業 ホ ワ イ ト カ ラ	中 小 企 業 ホ ワ イ ト カ ラ	家 族 従 業	小 企 業 主	農 林 漁	大 企 業 ブ ル ー カ ラ	中 小 企 業 ブ ル ー カ ラ	単 純 労 働	無 職	他 D ・ K	
I (1953)	57	分類がちがう												
II (1958)	31a 131a	6		11		-	8	29	7		4	22	13	100 (2,396)
III (1963)	○	3	2	6	3	3	11	16	7	8	2	38	1	100 (2,698)
IV (1968)	○	3	2	7	5	3	11	16	10	8	1	34	0	100 (3,033)
V (1973)	×	# 1. 4 * 参照												
VI (1978)	K+M	4	2	9	6	4	9	9	8	10	1	36	2	100 (3,945)
	K	4	2	9	7	4	9	8	9	10	0	35	3	100 (2,032)
	M	4	2	9	6	3	9	9	8	10	1	37	2	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	3	3	10	8	4	8	7	9	10	0	34	3	100 (4,429)
	K	4	3	9	8	4	9	7	9	10	0	34	3	100 (2,256)
	M	3	3	12	9	4	7	7	9	10	0	34	3	100 (2,173)

cf. # 1. 4 \* 職 業

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		農 林 水 産 業	自 営 の 商 工 業	事 務 系 の 勤 め 人	作 業 系 の 勤 め 人	専 門 ・ 自 由 業	管 理 職	主 婦	学 生 ・ 無 職	D ・ K	
V (1973)	K+M	13	10	16	16	5	3	26	10	1	100 (4,594)
	K	13	10	16	16	5	3	26	10	1	100 (3,055)
	M30	13	11	15	16	5	2	27	10	1	100 (1,539)

# 1. 5 市 郡

	問	1	2		3	4	5	6	計
		区 (6 大都市)	市				町	村	
			50 万 以上	20 万	10 万	5 万	5 万 未 滿		
I (1953)		13	7		6	6	7	61	100 (2,254)
II (1958)		15	10		9	9	13	44	100 (2,369)
III (1963)		16	12		11	11	12	38	100 (2,698)
IV (1968)		17	17		10	12	11	33	100 (3,033)
V (1973)	K+M	18	23		9	12	10	28	100 (4,594)
	K	18	23		10	12	10	28	100 (3,055)
	M	18	23		9	12	10	28	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	15	26		10	15	8	26	100 (3,945)
	K	15	27		10	15	8	25	100 (2,032)
	M	16	26		10	15	8	26	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	14	8	20	11	14	7	25	100 (4,429)
	K	14	8	20	12	14	7	25	100 (2,256)
	M	14	8	20	11	14	7	25	100 (2,173)

# 1.6 地 方

北 海 道 : 北海道

東 北 : 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島

関 東 : 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川

中部(東) : 新潟, 山梨, 長野, 静岡

中部(西) : 富山, 石川, 福井, 岐阜, 愛知

近 畿 : 三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山

中 国 : 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口

四 国 : 香川, 愛媛, 徳島, 高知

九 州 : 福岡, 佐賀, 長崎, 大分, 熊本, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

(Vから沖縄をふくむ)

	問	1 北 海 道	2 東 北	3 関 東	4 中 部 (東)	5 中 部 (西)	6 近 畿	7 中 国	8 四 国	9 九 州	計
I (1953)		5	11	22	8	9	15	8	6	15	100 (2,254)
II (1958)		5	10	24	8	9	15	8	5	15	100 (2,369)
III (1963)		5	10	23	9	10	17	8	4	13	100 (2,698)
IV (1968)		5	10	25	9	9	16	8	4	13	100 (3,033)
V (1973)	K+M	4	9	28	8	10	18	7	3	13	100 (4,594)
	K	4	9	28	8	10	17	7	3	13	100 (3,055)
	M	5	9	28	7	11	18	7	3	12	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100 (3,945)
	K	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100 (2,032)
	M	4	9	28	8	11	18	7	3	13	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	4	9	29	8	10	17	7	4	12	100 (4,429)
	K	4	9	29	8	10	17	7	4	11	100 (2,256)
	M	5	8	28	8	10	17	7	4	12	100 (2,173)

# 1. 8 帰属階級

〔リスト〕かりに現在の日本の社会全体を、この表にかいてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅は、このどれに入りますか？

1	上	
2	中の上	
3	中の中	
4	中の下	
5	下	
6	その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1 上	2 中の上	3 中の中	4 中の下	5 下	6 他	7 D.K.	計
Ⅶ (1983)	K+M	2	12	53	26	5	0	2	100 (4,429)
	K33	2	13	53	24	5	0	2	100 (2,256)
	M30	1	11	52	28	5	0	3	100 (2,173)

### # 1.9 所 有

〔リスト〕つぎにあげたもののうち、お宅にはどれとどれがありますか。あ  
るものを全部あげてください。(複数回答)

1 乗用車 (営業用以外)	2 電気冷蔵庫
3 パソコン (マイコン)	4 応接セット
5 宅地	6 家屋 (分譲マンションを含む)
7 別荘 (共同所有を含む)	8 クレジットカード
9 電話	
10 その他〔記入〕	11 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計 (複数回答)
		乗 用 車	電 気 冷 蔵 庫	パ ソ コ ン	応 接 セ ツ ト	宅 地	家 屋	別 荘	ク レ ジ ット カ ー ド	電 話	他 D.K.		
VII (1983)	K+M	70	99	7	41	69	72	2	45	97	1	0	(4,429)
	K	71	99	7	41	69	73	2	43	97	1	0	(2,256)
	M	70	99	7	41	68	72	2	46	96	1	0	(2,173)

# 1. 30 騒 音

〔リスト〕あなたのお宅では、騒音に悩まされていますか？

1	悩まされている	
2	少し悩まされている	
3	悩まされていない	
4	その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 悩ま されて いる	2 少 し悩 ま さ れ て い る	3 悩 ま さ れ な い	4 他	5 D.K.	計
VII (1983)	M29	12	26	62	0	0	100 (2,173)

## § 2 個人的態度

### # 2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いませんか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いませんか？

1 おし通せ	2 従え	3 場合による	
4 その他〔記入〕			5 D.K.

	問	1 おし 通せ	2 従 え	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100 (2,254)
II (1958)	<sup>7</sup> 107	41	35	19	1	4	100 (2,369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100 (2,698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100 (3,033)
V (1973)	K11	36	32	29	1	3	100 (3,055)
VI (1978)	K 6	30	42	24	2	2	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	29	39	29	1	2	100 (4,429)
	K 6	30	37	30	1	2	100 (2,256)
	M 5	29	40	28	1	2	100 (2,173)

# 2. 2 b スジか まるくか

〔リスト〕物事ものごとの『スジを通すこと』に重点をおく人と、物事を『まるくおさめること』に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか？

1 『スジを通すこと』に重点をおく人	
2 『まるくおさめること』に重点をおく人	
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 スジを通す	2 まるく おさめる	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K13	44	50	4	2	100 (2,032)
VII (1983)	K27	45	51	2	2	100 (2,256)



# 2.3 c 家庭に満足か

〔リスト〕あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか？

1 満 足	
2 やや満足	
3 やや不満	
4 不 満	
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 満 足	2 やや 満足	3 やや 不満	4 不 満	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M9 a	48	33	13	5	1	1	100(1,539)
VI (1978)	M5 a	54	32	8	4	0	1	100(1,913)
VII (1983)	K32 a	53	33	10	3	0	1	100(2,256)

# 2.3 d 社会に満足か

〔リスト〕あなたは、社会に対して満足していますか、それとも不満がありますか？

1 満 足	
2 やや満足	
3 やや不満	
4 不 満	
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 満 足	2 やや 満足	3 やや 不満	4 不 満	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M9 b	6	20	37	30	1	6	100(1,539)
VI (1978)	M5 b	9	28	38	19	1	5	100(1,913)
VII (1983)	K+M	9	31	39	18	1	2	100(4,429)
	K32 b	9	29	39	20	1	2	100(2,256)
	M19	9	34	39	16	1	2	100(2,173)

# 2.3 f 生活環境満足か

〔リスト〕 お宅の付近の生活環境について、全体としてどう思っていますか？

1	非常に満足している
2	満足している
3	あまり満足していない
4	満足していない
5	その他〔記入〕
6	D.K.

	問	1 非常に満足	2 満足	3 あまり満足していない	4 満足していない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M12	6	61	27	4	1	1	100(2,173)

# 2.3 g 健康状態満足か

〔同じリスト〕 あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか？

1	非常に満足している
2	満足している
3	あまり満足していない
4	満足していない
5	その他〔記入〕
6	D.K.

	問	1 非常に満足	2 満足	3 あまり満足していない	4 満足していない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M13	13	59	21	5	1	1	100(2,173)

## # 2.4 くらし方

〔リスト〕人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもの  
のうちで、どれが1番、あなた自身の気持に近いものですか？

1	一生けんめい働き、金持ちになること
2	まじめに勉強して、名をあげること
3	金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする
4	その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5	世の中の正しくないことを押しつけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6	自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを <sup>きま</sup> 捧げてくらすこと
7	その他〔記入〕
8	D.K.

	問	1 金 持 ち	2 名 を あ げ る	3 趣 味	4 の ん き に	5 清 く 正 し く	6 社 会 に つ く す	7 他	8 D.K.	計
I (1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100(2,254)
II (1958)	22	17	3	26	19	22	6	3	3	100( 920)
III (1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100(2,698)
IV (1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100(3,033)
V (1973)	K34	14	3	39	23	11	5	2	3	100(3,055)
VI (1978)	K19	14	2	39	22	11	7	2	4	100(2,032)
VII (1983)	K+M	18	2	38	23	9	5	2	4	100(4,429)
	K20	20	2	38	20	10	6	2	4	100(2,256)
	M20	15	2	38	26	9	4	2	3	100(2,173)

## # 2. 5 自然と人間との関係

〔リスト〕自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけえらんで下さい？

1	人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
2	人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
3	人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない
4	その他〔記入〕
5	D. K.

	問	1 自然に従え	2 自然を利用	3 自然を征服	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	34	26	41	23	1	8	100 (2,254)
II (1958)	15	20	37	28	1	13	100 ( 920)
III (1963)	15	19	40	30	1	10	100 (2,698)
IV (1968)	17	19	40	34	1	7	100 (3,033)
V (1973)	K+M	31	45	17	1	7	100 (4,594)
	K23	30	45	16	1	8	100 (3,055)
	M20	32	44	18	1	5	100 (1,539)
VI (1978)	K16	33	44	16	1	6	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	36	47	11	1	4	100 (4,429)
	K17	41	41	12	1	4	100 (2,256)
	M17	31	53	11	1	4	100 (2,173)

# 2.7 一番大切なもの

あなたにとって1番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください  
(なんでもかまいません)？

(自由回答)

[品物, 愛情, 子供などなんでもよいが, こちらからは絶対に例をあげるな]

	問	1 生命・健康	2 子 供	3 家 族	4 家 ・ 先 祖	5 金 ・ 財 産	6 愛 情 ・ 精 神	7 仕 事 ・ 信 用	8 国 家 ・ 社 会	そ の 他	D ・ K 特 に な し	計
I (1953)	47	12	12	19	*	16	11	*	*	25	5	100 (2,254)
II (1958)	29 129	21	11	12	3	12	13	9	5	6	6	100 (2,369)
III (1963)	29	26	10	13	3	10	15	10	3	4	7	100 (2,698)
IV (1968)	34	28	8	13	3	8	15	10	4	6	6	100 (3,033)
V (1973)	K41	20	8	20	2	8	17	8	5	4	9	100 (3,055)
VI (1978)	K32	21	7	23	1	5	22	10	3	4	3	100 (2,032)
VII (1983)	K13	21	9	31	2	8	16	7	1	2	3	100 (2,256)

\*はその他

注) I (1953) 調査では質問文, あなたの家で……

# 2.7 b あなたの趣味は

あなたの趣味はなんですか。1つだけあげてください（なんでもかまいません）？

(自由回答)

	問	1 読書	2 文芸	3 音楽	4 美術	5 伝統 芸	6 スポーツ ・ 運動	7 魚つり ・ 見物	8 旅行 ・ イブ	9 ド 芸 ・ 飼育	10 園 ・ ゲーム ・ 娯楽	11 飲	12 買	13 手	14 料理	15 機 械 ・ 工 作
VII (1983)	K12	10	1	8	2	4	20	3	2	7	3	1	1	10	1	1

	問	16 テレビ ・ ラジオ	17 家族 団らん ・ 休養	18 仕事 ・ 家事	19 社会 活動 ・ 奉仕	20 生き方 ・ 健康 づくり	21 教養	22 交際	23 信 仰 ・ 参詣	24 収 集	25 貯 蓄	26 そ の 他	27 な し 全 部	28 D ・ K	計
VII (1983)	K12	1	1	8	1	1				2			11	1	100 (2,256)

# 2.8 一生働くか

もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか？

1 ずっと働く	2 働くのをやめる
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 ずっと 働く	2 働く のを やめ る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M2	70	25	3	2	100 (1,539)
VI (1978)	K1	69	25	3	3	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	70	24	3	3	100 (4,429)
	K2	73	23	2	2	100 (2,256)
	M1	67	25	4	3	100 (2,173)

# 2. 11 好きなくらし方か人のためか

〔リスト〕あなたは、つぎの2つの暮<sup>くらし</sup>し方のうち、どちらに賛成ですか？

1	人のためにならなくても、自分の好きなことをしたい
2	自分の好きなことかどうかはともかく、人のためになることをしたい
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 自分 好きな こと	2 人 のため に	3 他	4 D.K.	計
VI (1978)	M 6	35	55	5	5	100 (1,913)
VII (1983)	K 21a	37	55	4	5	100 (2,256)

# 2. 11 b 可能性をためすか

〔つぎのリスト〕では、つぎの2つのうち、どちらがあなたの気持ちに近いですか？

1	仕事や遊びなどで自分の可能性をためすために、できるだけ多くの経験をしたい
2	わずらわしいことはなるべく避けて、平穩無 <sup>へいあんぶじ</sup> 事に暮らしたい
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 可能 性を ため す	2 平 穩 無 事	3 他	4 D.K.	計
VI (1978)	×					
VII (1983)	K 21b	63	35	1	1	100 (2,256)



# 2. 12 他人のためか自分のためか

たいていの方は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも、自分のことだけに気をくばっていると思いますか？

1	他人の役にたとうとしている	
2	自分のことだけに気をくばっている	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 他人の役に	2 自分のことだけ	3 他	4 D.K.	計
VI (1978)	K 27	13	74	3	4	100 (2,032)
VII (1983)	K 7	24	62	9	5	100 (2,256)

# 2. 12 b スキがあれば利用されるか

他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それとも、そんなことはないと思いますか？

1	利用しようとしていると思う	
2	そんなことはないと思う	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 と利用しよう	2 はそんなこと	3 他	4 D.K.	計
VI (1978)	K 28	39	53	3	5	100 (2,032)
VII (1983)	K 8	29	59	7	5	100 (2,256)

注) 研究レポート46では # 7. 20 c に分類

# 2. 12 c 人は信頼できるか

たいていの方は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはないと思いますか？

1 信頼できると思う	
2 用心するにこしたことはないと思う	
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 信頼 できる	2 用 心 が し た 方	3 他	4 D.K.	計
VI (1978)	K 29	26	68	3	3	100 (2,032)
VII (1983)	K 9	31	61	5	2	100 (2,256)

注) 研究レポート46では# 7. 20bに分類

# 2. 30 不安感重い病気, # 2. 30 b 不安感仕事上の事故

〔リスト〕ときどき、自分自身のことや家族のことで、不安になることがあります。あなたは、つぎのような危険について、不安を感じるがありますか。

a まず、「重い病気」の不安は、どの程度でしょうか？

	1	2	3	4	5	6
	非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	まったく 感じない	その他 〔記入〕	D. K.

a 重い病気

	問	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 ま ったく 感じ ない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M25a	29	27	35	8	0	1	100 (2,173)

b では、「仕事上の事故」については、どの程度でしょうか？

b 仕事上の事故

	問	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 ま ったく 感じ ない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M25b	22	27	35	14	1	2	100 (2,173)

# 2. 30 c 不安感街での暴力, # 2. 30 d 不安感交通事故

〔リスト〕ときどき、自分自身のことや家族のことで、不安になることがあります。あなたは、つぎのような危険について、不安を感じることがありますか。

c では、「街での暴力」については、どの程度でしょうか？

	1	2	3	4	5	6
	非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	まったく 感じない	その他 〔記入〕	D. K.

c 街での暴力

	問	1	2	3	4	5	6	計
		非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	まったく 感じない	他	D.K.	
VII (1983)	M25c	23	20	37	17	1	2	100 (2,173)

d では、「交通事故」については、どうでしょうか？

d 交通事故

	問	1	2	3	4	5	6	計
		非常に 感じる	かなり 感じる	少しは 感じる	まったく 感じない	他	D.K.	
VII (1983)	M25d	43	34	19	3	0	1	100 (2,173)

# 2. 30 e 不安感失業, # 2. 30 f 不安感戦争, # 2. 30 g 不安感原子力施設の事故

〔リスト〕ときどき、自分自身のことや家族のことで、不安になることがあると思います。あなたは、つぎのような危険について、不安を感じるがありますか。

e では、「失業」については、どうでしょうか？

	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 まったく 感じない	5 その他 〔記入〕	6 D. K.
--	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	------------------	------------

e 失 業

	問	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 まったく 感じない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M25e	23	19	31	23	1	2	100 (2,173)

f では、「戦争」については、どうでしょうか？

f 戦 争

	問	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 まったく 感じない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M25f	34	19	31	13	1	2	100 (2,173)

g では、「原子力施設の事故」については、どうでしょうか？

g 原子力施設の事故

	問	1 非常に 感じる	2 かなり 感じる	3 少しは 感じる	4 まったく 感じない	5 他	6 D.K.	計
VII (1983)	M25g	26	20	36	13	1	4	100 (2,173)

### § 3 宗 教

#### # 3. 1 宗教を信じるか

宗教についておききしたいのですが、

たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

- 1 もっている、信じている  
 2 もっていない、信じていない、関心がない → 問bへ

	問	1 信 じ て い る	2 信 じ て い な い	計
I (1953)	×			
II (1958)	16a	35	65	100 ( 920)
III (1963)	28a	31	69	100 (2,698)
IV (1968)	33a	30	70	100 (3,033)
V (1973)	K19a	25	75	100 (3,055)
VI (1978)	K11a	34	66	100 (2,032)
VII (1983)	K15a	32	68	100 (2,256)

### # 3.2 「宗教心」は大切か

〔これは前問# 3.1の答が1の人には質問しない〕それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大 切	2 大切でない
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 大 切	2 大 切 で ない	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	16c	70	17	2	11	100 ( 600)
III (1963)	28b	77	13	4	6	100 (1,870)
IV (1968)	33b	76	14	5	5	100 (2,113)
V (1973)	K19b	69	15	6	10	100 (2,303)
VI (1978)	K11b	74	13	4	9	100 (1,335)
VII (1983)	×					

b それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大 切	2 大切でない
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 大 切	2 大 切 で ない	3 他	4 D.K.	計
VII (1983)	K15b	80	11	5	4	100 (2,256)

注) VII (1983) 調査では全員に質問した。

### # 3.6 宗教か科学か

〔リスト〕あなたは宗教というものについて、どう思いますか。つぎの4つの意見のうち、あなたの意見に1番近いと思うものを1つだけえらんで下さい？

- |   |                                                   |
|---|---------------------------------------------------|
| 1 | 宗教というものは、人間を救うことはできない。人間を救うことのできるのは科学の進歩以外にはない    |
| 2 | 人間の救いには科学の進歩と宗教の力とが、たすけあってゆくことが必要である              |
| 3 | 科学の進歩と人間の救いとは関係がない。人間を救うことができるのはただ宗教の力だけである       |
| 4 | 科学が進歩しても、宗教の力でも、人間は救われるものではない                     |
| 5 | その他〔記入〕 <span style="float: right;">6 D.K.</span> |

	問	1 宗 教 否 定	2 宗 教 科 学 協 力	3 宗 教 の み	4 両 方 否 定	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	37	10	63	9	8	0	10	100 (2,254)
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	×							
VII (1983)	K29	7	54	4	27	1	7	100 (2,256)



### # 3.9 首相の伊勢参り

あたらし<sup>く</sup>く総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

1 行かねばならぬ	2 行った方がよい
3 本人の自由だ	4 行かない方がよい
5 行くべきではない	
6 その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1 行 か ね ば ら ぬ	2 行 っ た 方 が よ い	3 本 人 の 自 由	4 行 か な い 方 が よ い	5 行 く は な い で	6 他	7 D.K.	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100 (2,254)
II (1958)	110	5	33	27	12	5	2	16	100 (1,449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100 (2,698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100 (3,033)
V (1973)	K 14	4	21	48	10	5	3	9	100 (3,055)
VI (1978)	K 7	3	17	51	7	5	8	9	100 (2,032)
VII (1983)	M 6	2	19	52	6	4	9	8	100 (2,173)

## § 4 子供・家

### §4.1 子供

#### # 4.4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれがほんとうであることを知っている場合、子供には

「そんなことはない」

といった方がよいと思いますか、それとも

「それはほんとうだ」

といった方がよいと思いますか？

1 そんなことはないという	2 ほんとうだという
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 はそ なん いな いとこ うと	2 本 当 とだ い う	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	9	38	42	13	7	100 ( 2, 254 )
II (1958)	6	38	40	11	11	100 ( 920 )
III (1963)	4	33	50	10	8	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	4	29	52	11	7	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K5	31	54	6	8	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K4	27	57	8	8	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K4	26	59	9	6	100 ( 2, 256 )

#### # 4. 5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。

「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものだと教えるのがよい」

というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛 成	2 反 対
3 いちがいにはいえない	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 はい いち えが ないに	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	24の1	65	24	9	0	2	100 ( 2, 254 )
II (1958)	×						
III (1963)	5	60	23	15	1	1	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K6	44	38	17	1	1	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K5	45	40	13	1	2	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	43	42	13	1	1	100 ( 4, 429 )
	K5	43	42	13	1	1	100 ( 2, 256 )
	M4	43	41	14	1	1	100 ( 2, 173 )

§4.2 家

#4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもら  
 って家をつがせた方がよいと思いませんか、それとも、つがせる必要はないと  
 思いませんか？

1 つがせた方がよい	2 つがせないでもよい、意味がない
3 場合による	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 つ が せ る	2 つ が せ な い	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	28の1	74	16	7	1	3	100 (2,254)
II (1958)	106	63	21	8	1	7	100 (1,449)
III (1963)	2	51	32	12	1	4	100 (2,698)
IV (1968)	2	43	41	9	2	5	100 (3,033)
V (1973)	K3	36	41	17	1	5	100 (3,055)
VI (1978)	K3	33	48	12	1	7	100 (2,032)
VII (1983)	M3	27	51	15	2	5	100 (2,173)

# 4. 11 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか？

1 尊ぶ	2 普通
3 尊ばない方	5 D.K.
4 その他〔記入〕	

	問	1 尊 ぶ	2 普 通	3 尊 ば な い 方	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	3	77	15	5	1	2	100 ( 2, 254 )
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K20	67	21	10	1	1	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K10	72	16	10	1	1	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K14	71	15	13	1	1	100 ( 2, 256 )

#### # 4. 30 家庭はくつろぐ場所

〔リスト〕つぎのような考え方があります。

「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」

というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか？

1	そう思う	2	そうは思わない
3	その他〔記入〕	4	D.K.

	問	1 そう 思う	2 思 わ な い	3 他	4 D.K.	計
VII(1983)	M9	82	14	2	1	100 (2, 173)

#### # 4. 31 家事や子供の世話

〔リスト〕家事や子供の世話について、どうお考えですか？

1	すべてが女性の仕事である	5	D.K.
2	いくつかは女性の仕事である		
3	すべての仕事を、男性と女性とで公平に分担すべきである		
4	その他〔記入〕		

	問	1 女 性 の 仕 事 は	2 女 性 の 仕 事 は	3 分 担 す べ き	4 他	5 D.K.	計
VII(1983)	M10	22	49	25	2	1	100 (2, 173)

# 4. 32 離婚すべきでないか

〔リスト〕 つぎの3つの意見の中で、どれが1番あなたの意見に近いですか？

1	離婚はすべきでない	
2	ひどい場合には、離婚してもよい	
3	二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい	
4	その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 離婚 です べき いき	2 ひ ど い は い 離 場 合	3 合 意 あ れ ば 離 婚	4 他	5 D.K.	計
VII(1983)	M11	35	39	22	2	2	100 (2, 173)

## § 5 身近な社会

### # 5.1 恩人がキトクするとき

〔絵を見せながら〕南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

〔ここでリストを見せる〕あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい？

1	なにをおいても、すぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100 ( 2, 254 )
II (1958)	111a	50	39	2	9	100 ( 1, 449 )
III (1963)	13a	46	46	2	5	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K21a	51	40	2	8	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K15a	51	42	2	5	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	52	41	2	5	100 ( 4, 429 )
	K16a	52	41	3	4	100 ( 2, 256 )
	M16a	52	41	2	5	100 ( 2, 173 )



# 5. 1b 親がキトクするとき

[質問 a と同じ絵, 同じリストで] いまの質問では, 恩人が死にそうなときを, うかがいましたが, もしキトクなのが恩人ではなくて, 南山さんの親だったら, どうしたらよいと思いますか, どちらかえらんで下さい?

1	なにをおいてもすぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても, 大事な会議に出席する	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	42	49	48	1	3	100 ( 2, 254 )
II (1958)	111b	50	41	2	7	100 ( 1, 449 )
III (1963)	13b	45	47	2	6	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	15b	44	49	3	4	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K21b	51	41	2	7	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K15b	49	44	1	5	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	49	45	2	4	100 ( 4, 429 )
	K16b	49	45	2	3	100 ( 2, 256 )
	M16b	49	45	2	4	100 ( 2, 173 )

# 5. 1 恩人がキトクするとき×# 5. 1b 親がキトクするとき

	恩人	1	2	3	4	5	計
	親	故郷 会議	故郷	会議 故郷	会議 故郷	その他 の組合 せ	
I (1953)	41, 42	15	38	9	31	6	100 ( 2, 254 )
II (1958)	111 ab	11	37	10	27	14	100 ( 1, 449 )
III (1963)	13 ab	10	34	10	35	11	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	15 ab	13	32	11	35	9	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K21 ab	9	40	8	30	12	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K15 ab	12	38	9	31	9	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	13	38	9	31	9	100 ( 4, 429 )
	K16 ab	12	38	9	31	9	100 ( 2, 256 )
	M16 ab	13	37	10	31	9	100 ( 2, 173 )

# 5. 1c-1 入社試験

〔リスト〕あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、

「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」

と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ（採用しろ）といますか？

1	1番の人を採用するようという	
2	親戚を採用するようという	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 1 番 の 人	2 親 戚 の 人	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20a	75	19	2	4	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	22a	78	17	2	4	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K+M	73	19	1	7	100 ( 4, 594 )
	K28a	73	19	1	7	100 ( 3, 055 )
	M16a	72	19	2	7	100 ( 1, 539 )
VI (1978)	K21a	72	23	2	4	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	70	23	3	4	100 ( 4, 429 )
	K22a	71	23	2	4	100 ( 2, 256 )
	M21a	70	23	3	4	100 ( 2, 173 )

# 5. 1c-2 入社試験

〔つぎのリスト〕それでは、このばあい、2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか？  
 (どちらをとれといえますか？)

1	1番の人を採用するようにいう	
2	恩人の子供を採用するようにいう	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 1 番 の 人	2 恩 人 の 子	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20b	48	44	2	6	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	22b	54	39	2	5	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K+M	52	38	2	8	100 ( 4, 594 )
	K28b	52	39	2	7	100 ( 3, 055 )
	M16b	52	38	1	9	100 ( 1, 539 )
VI (1978)	K21b	47	46	2	5	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	46	47	2	5	100 ( 4, 429 )
	K22b	46	47	2	5	100 ( 2, 256 )
	M21b	47	46	3	5	100 ( 2, 173 )

# 5. 1c-1 入社試験(親戚)×# 5. 1c-2 入社試験(恩人の子)

	親戚	1	2	3	4	5	計
	の恩人	1番	親戚 恩人	親戚 1番	1番	1番 その他 の組合せ	
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	20 ab	25	17	2	46	10	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	22 ab	23	14	2	52	10	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K+M	20	17	2	50	13	100 ( 4, 594 )
	K28 ab	20	17	2	50	12	100 ( 3, 055 )
	M16 ab	21	16	2	49	13	100 ( 1, 539 )
VI (1978)	K21 ab	25	20	2	45	8	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	24	21	2	44	9	100 ( 4, 429 )
	K22 ab	24	21	2	44	9	100 ( 2, 256 )
	M21 ab	23	20	2	44	10	100 ( 2, 173 )

# 5. 1d 大切な道徳

〔リスト〕つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか？

1 親孝行をすること	2 恩返しをすること
3 個人の権利を尊重すること	4 自由を尊重すること
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 他	6 D.K.	計 (複数回答)
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	17	60	43	49	40	1	2	(2,698)
IV (1968)	20	61	45	44	46	0	2	(3,033)
V (1973)	K 26	63	43	45	43	1	2*	(3,055)
VI (1978)	K 18	70	47	38	39	0	2	(2,032)
VII (1983)	K 19	73	50	36	37	0	1	(2,256)

\* 3つ以上えらんだものはD.K.に入れた。

# 5. 1d 大切な道徳の組合せ

	問	1 孝 行 × 恩 返	2 孝 行 × 権 利	3 孝 行 × 自 由	4 恩 返 × 権 利	5 恩 返 × 自 由	6 権 利 × 自 由	7 は 孝 行 恩 返 の み 又	8 は 権 自 由 の み 又	9 そ の 他 の 組 合 せ	計
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100 (2,698)
IV (1968)	20	28	15	18	8	8	20	1	1	2	100 (3,033)
V (1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100 (3,055)
VI (1978)	K18	34	17	19	7	7	14	1	0	2	100 (2,032)
VII (1983)	K19	36	18	18	6	7	12	1	0	1	100 (2,256)

### # 5.6 めんどうをみる課長

〔リスト〕ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげて下さい？

- |   |                                                   |        |
|---|---------------------------------------------------|--------|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどうを見ません。 |        |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもあります。仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます。 |        |
| 3 | その他〔記入〕                                           | 4 D.K. |

	問	1 めん みど なう いを	2 めん ど みるを	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	35	12	85	1	2	100 ( 2, 254 )
II (1958)	117	14	78	2	7	100 ( 1, 449 )
III (1963)	21	13	82	1	5	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	23	12	84	1	4	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K29	13	81	1	5	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K22	10	87	1	3	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	9	89	1	2	100 ( 4, 429 )
	K23	8	89	0	2	100 ( 2, 256 )
	M22	9	88	1	2	100 ( 2, 173 )



# 5. 6h 他人との仲か仕事か

〔リスト〕 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか？

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではパッとしない人 |
| 2 | 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人       |
| 3 | その他〔記入〕                          |
| 4 | D.K.                             |

	問	1 他 仲人 がと よい	2 仕 事 で が よ く き る	3 他	4 D.K.	計
VI(1978)	K 14	72	11	7	10	100 ( 2,032 )
VII(1983)	K 26	75	11	6	8	100 ( 2,256 )

## § 6 男女差別

### # 6. 2 男・女の生まれかわり

もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれてきたいと思いますか？

1 男に	2 女に	3 その他〔記入〕	4 D.K.
------	------	-----------	--------

		問	1 男 に	2 女 に	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	90	5	4	1	100 ( 684 )
	III (1963)	1a	88	7	3	2	100 ( 1, 252 )
	IV (1968)	1a	89	5	4	2	100 ( 1, 427 )
	V (1973)	K+M	89	5	2	3	100 ( 2, 063 )
		K1a	89	6	2	4	100 ( 1, 395 )
		M1a	90	5	3	3	100 ( 668 )
	VI (1978)	M1a	90	4	3	3	100 ( 832 )
VII (1983)	K1	90	5	3	2	100 ( 988 )	
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	64	27	6	3	100 ( 765 )
	III (1963)	1a	55	36	5	4	100 ( 1, 446 )
	IV (1968)	1a	43	48	4	5	100 ( 1, 606 )
	V (1973)	K+M	42	51	3	4	100 ( 2, 531 )
		K1a	42	51	3	4	100 ( 1, 660 )
		M1a	43	50	3	5	100 ( 871 )
	VI (1978)	M1a	41	52	3	4	100 ( 1, 081 )
VII (1983)	K1	39	56	3	2	100 ( 1, 268 )	

## § 7 一般の社会的問題

### # 7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 賛成〔人間らしさはへる〕     | 2 いちがいにはいけない |
| 3 反対〔人間らしさ、不変、ふえる〕 |              |
| 4 その他〔記入〕          | 5 D.K.       |

	問	1 賛 成	2 はい いち えが ない に	3 反 対	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	5	30	17	35	1	17	100 ( 2, 254 )
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100 ( 920 )
III (1963)	6	38	22	28	1	12	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K 10	50	21	22	1	6	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K 2	43	21	30	1	5	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	K+M	48	20	28	1	4	100 ( 4, 429 )
	K 3	46	19	30	1	3	100 ( 2, 256 )
	M 2	49	20	26	1	4	100 ( 2, 173 )

# 7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 反対〔へる〕	2 いちがいにいけない
3 賛成〔へらない〕	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 反 （へる） 対	2 い ち が い に い け な い	3 （賛 へ ら な い） 成	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	29	17	8	58	1	16	100 ( 2, 254 )
II (1958)	24	21	10	53	1	16	100 ( 920 )
III (1963)	12	18	19	49	1	13	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	13	22	13	56	1	9	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K 18	31	20	42	1	7	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	K 12	25	15	53	1	6	100 ( 2, 032 )
VII (1983)	M 8	31	17	46	1	5	100 ( 2, 173 )

#### # 7. 4 日本と個人の幸福

〔リスト〕あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください？

- |   |                             |        |
|---|-----------------------------|--------|
| 1 | 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる     |        |
| 2 | 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる       |        |
| 3 | 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである |        |
| 4 | その他〔記入〕                     | 5 D.K. |

	問	1 個人 ↓ 日本	2 日本 ↓ 個人	3 日本    個人	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	45	25	37	31	1	6	100 (2, 254)
II (1958)	×						
III (1963)	16	30	30	34	0	7	100 (2, 698)
IV (1968)	19	27	32	36	1	5	100 (3, 033)
V (1973)	K 25	30	26	37	0	6	100 (3, 055)
VI (1978)	K 17	27	27	41	0	4	100 (2, 032)
VII (1983)	K 18	25	30	40	1	4	100 (2, 256)

#### # 7. 4\* 国と個人の幸福

〔リスト〕あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください？

- |   |                            |        |
|---|----------------------------|--------|
| 1 | 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる     |        |
| 2 | 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる       |        |
| 3 | 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである |        |
| 4 | その他〔記入〕                    | 5 D.K. |

	問	1 個人 ↓ 国	2 国 ↓ 個人	3 国    個人	4 他	5 D.K.	計
VII (1983)	M 18	26	29	40	1	4	100 (2, 173)

# 7. 4b 国の繁栄と国民の生活

〔リスト〕 国の繁栄ということについて、つぎの2つの意見があります。  
あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- |   |                                        |        |
|---|----------------------------------------|--------|
| 1 | 国が繁栄しても、一部の人がもうけるばかりで、国民ひとりひとりの生活はよくなる |        |
| 2 | 国が繁栄すれば、国民ひとりひとりの生活もよくなる               |        |
| 3 | その他〔記入〕                                | 4 D.K. |

	問	1 よ く な ら ない	2 よ く な る	3 他	4 D.K.	計
V(1978)	M20	37	57	1	5	100(1,913)
VI(1983)	K 30	33	63	1	3	100(2,256)

# 7. 23 事故と先生—本人の意見

a〔リスト〕中学生が先生の引率で旅行に行ったところ、ある生徒が夜中に1人で外出して自動車にひかれたとします。つぎの意見のうち、あなたの意見に近いのはどちらですか？

1	学校の旅行中に起きた事故だから、先生に責任がある
2	その生徒は夜中に1人で外出したのだから、先生には責任はない
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 責任がある	2 責任はない	3 他	4 D.K.	計
V(1978)	M13a	37	54	5	4	100(1,913)
VII(1983)	K28a	41	51	4	3	100(2,256)

# 7. 23b 事故と先生—一般の親は

b〔同じリスト〕では、一般に多くの親たちの意見は、どちらだと思えますか？

1	学校の旅行中に起きた事故だから、先生に責任がある
2	その生徒は夜中に1人で外出したのだから、先生には責任はない
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 責任がある	2 責任はない	3 他	4 D.K.	計
VI(1978)	M13b	75	17	2	6	100(1,913)
VII(1983)	K28b	83	13	2	2	100(2,256)

# 7. 24 就職の第1の条件

a [リスト]ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに1番関心がありますか？

1	かなりよい給料がもらえること	
2	倒産や失業の恐れがない仕事	
3	気の合った人たちと働くこと	
4	やりとげたという感じがもてる仕事	
5	その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 よい 給料	2 失業 がの 恐れ いれ	3 気 の 合 う 仲 間	4 や り あ る が 仕 事 の	5 他	6 D.K.	計
VI(1978)	K24a	7	23	30	38	0	2	100(2,032)
	K+M	7	17	33	40	1	2	100(4,429)
VII(1983)	K25	7	16	33	42	1	2	100(2,256)
	M23	8	19	33	37	1	2	100(2,173)

注) リポート46では# 8. 10に分類

[参 考]

# 7. 24b 就職の第2の条件

b [同じリスト]では、2番目はどれですか？

	問	1 よい 給料	2 失業 がの 恐れ いれ	3 気 の 合 う 仲 間	4 や り あ る が 仕 事 の	5 他	6 D.K.	計
VI(1978)	K24b	20	24	31	23	0	2	100(2,032)

注) リポート46では# 8. 10bに分類



# 7. 25 お金と仕事

〔リスト〕仕事について、つぎの2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか？

1	いくらお金があっても、仕事がなければ、人生はつまらない
2	お金があれば、仕事がなくても、人生がつまらないとは思わない
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 ば仕事 つま まが らな け いれ	2 仕事 が な く も よ く い て	3 他	4 D.K.	計
VII(1983)	K 24	83	14	1	2	100 (2,256)

# 7. 30a 生活水準10年の変化

〔リスト〕あなたの生活水準は、この10年間でどう変わりましたか？

1 よくなった	2 ややよくなった
3 変わらない	4 ややわるくなった
5 わるくなった	
6 その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	計
		よ く な っ た	や や よ く な っ た	変 ら な い	わ や る く な っ た	わ る く な っ た	他	D.K.	
VII(1983)	M14a	17	32	35	10	4	0	1	100 (2, 173)

# 7. 30b 日本人の生活水準

〔同じリスト〕では、日本人全体の生活水準は、この10年間でどう変わったと思いますか？

1 よくなった	2 ややよくなった
3 変わらない	4 ややわるくなった
5 わるくなった	
6 その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	計
		よ く な っ た	や や よ く な っ た	変 ら な い	わ や る く な っ た	わ る く な っ た	他	D.K.	
VII(1983)	M14b	26	33	16	13	7	1	4	100 (2, 173)

# 7. 31 今後の生活水準

〔リスト〕これから先の5年間に、あなたの生活状態はよくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか？

1 よくなるだろう	2 ややよくなるだろう
3 変わらないだろう	4 ややわるくなるだろう
5 わるくなるだろう	
6 その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	計
		よ く な る	やや よ く な る	変 ら な い	やや わ る く な る	わ る く な る	他	D.K.	
VII(1983)	M15	12	19	47	11	5	1	4	100 (2, 173)

# 7. 32 お金とコネがあればよい治療がうけられるか

〔リスト〕病気になったとき、お金があり、よいコネがあれば十分な治療が受けられる、と考える人がいますが、あなたは、こういう意見についてどう思いますか？

1 賛成	2 どちらかといえば賛成
3 どちらかといえば反対	4 反対
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	計
		賛 成	ど ち ら か と い え ば 賛 成	ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対	他	D.K.	
VII(1983)	M24	19	32	25	19	1	4	100 (2, 173)

# 7. 33 コンピュータ社会は好ましいか

〔リスト〕コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということがいわれています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変っていく面があると思われます。

あなたは、このような変化を、どう思いますか？

1 望ましいことである	
2 望ましいことではないが、避けられないことである	
3 困ったことであり、危険なことでもある	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 望 ま し い	2 避 け ら れ な い	3 危 険 な こ と	4 他	5 D.K.	計
VII(1983)	M26	25	60	8	1	6	100 (2, 173)

# 7. 34 省エネルギーは重要か

〔リスト〕エネルギーの節約について話題になることがしばしばあります。あなたご自身は、このことは重要な問題だと思いますか？

1 非常に重要である	2 重要である
3 あまり重要ではない	4 重要ではない
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 非 常 に 重 要	2 重 要	3 あ ま り 重 要 な こ と で あ り ま す	4 重 要 な こ と で あ り ま す	5 他	6 D.K.	計
VII(1983)	M27a	36	56	5	0	0	2	100 (2, 173)

# 7. 35 環境の保護は重要か

〔同じリスト〕 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか？

1 非常に重要である	2 重要である
3 あまり重要ではない	4 重要ではない
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 非常に重要	2 重要	3 あまり重要ではない	4 重要ではない	5 他	6 D.K.	計
VII(1983)	M27b	37	50	9	1	1	3	100 (2, 173)

# 7. 36 科学上の発見・利用は生活に役立つか

〔リスト〕 科学上の発見とその利用は、どの程度あなたの日常生活の改善に役立っていると思いますか？

1 役立っている	2 少しは役立っている
3 役立っていない	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 役立っている	2 少しは役立っている	3 役立っていない	4 他	5 D.K.	計
VII(1983)	M28	39	48	7	1	4	100 (2, 173)

## § 8 政治的態度

### # 8. 1b 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成〔まかせる〕	2 反対〔まかせっきりはいけない〕
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D.K.	計
VI(1978)	K8	32	58	2	7	100(2,032)
VII(1983)	K+M	33	60	3	5	100(4,429)
	K10	33	60	2	5	100(2,256)
	M7	32	59	3	5	100(2,173)

注) VI(1978)は、質問文が「日本の国をよくする……」

### cf. # 8. 1 政治家にまかせるか <質問文は # 8. 1b注と同じ>

1 賛成〔まかせる〕	2 時, 人による
3 反対〔まかせっきりはいけない〕	
4 そんなにすぐれた人が出るとは考えられない	
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	計
I(1953)	30	43	9	38	3	0	7	100(2,254)
II(1958)	112	35	10	44	2	0	9	100(2,369)
III(1963)	11	29	12	47	4	1	7	100(2,698)
IV(1968)	12	30	10	51	3	1	5	100(3,033)
V(1973)	K15	23	15	51	5	1	5	100(3,055)

### cf. # 8. 1\* 政治家にまかせるか <答は # 8. 1b と同じ>

こういう意見があります。

「すぐれた政治家がでてきたら、国民が互いに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

	問	1	2	3	4	計
V(1973)	M8	30	60	2	8	100(1,539)

# 8.6 選挙への関心

〔リスト〕あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

1	なにをおいても投票する	
2	なるべく投票するようにつとめる	
3	あまり投票する気にならない	
4	ほとんど投票しない	
5	その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1	2	3	4	5	6	計
		なに てに もを 投お 票い	なら す る べ い 投 く 票	あ ら ま し に 投 い ど 票	ほ ん と ん と 投 い ど 票	他	D.K.	
I (1953)	×							
II (1958)	34 134	62	32	3	2	1	1	100 (2,369)
III (1963)	33	53	41	4	1	0	1	100 (2,698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0	0	100 (3,033)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	0	100 (3,055)
VI (1978)	M18	45	47	5	3	0	0	100 (1,913)
VII (1983)	M31	39	48	9	3	0	0	100 (2,173)

## # 8.7 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1 自民党	2 民社党
3 社会党	4 共産党
5 公明党	6 新自由クラブ
7 社会民主連合	8 支持政党なし
9 その他〔具体的に記入〕	10 D.K.

	問	1 自 民 党	2 民 社 党	3 社 会 党	4 共 産 党	5 公 明 党	6 新 自 由 ク ラ ブ	7 社 会 民 主 連 合	8 支 持 政 党 な し	9 他 D.K.	10 他 D.K.	計
I (1953)	58	40	-	23	0	-	-	-	20	5	12	100 (2, 254)
II (1958)	35 135	38	-	30	0	-	-	-	20	1	10	100 (2, 369)
III (1963)	35	43	3	22	0	2	-	-	22	1	7	100 (2, 698)
IV (1968)	39	41	4	22	2	4	-	-	21	3	4	100 (3, 033)
V (1973)	K+M	33	3	17	3	4	-	-	33	2	6	100 (4, 594)
	K40	35	3	17	3	4	-	-	31	2	5	100 (3, 055)
	M28	30	2	17	3	3	-	-	37	1	7	100 (1, 539)
VI (1978)	K+M	34	3	14	3	4	1	-	34	2	5	100 (3, 945)
	K31	35	3	14	2	4	1	-	34	2	5	100 (2, 032)
	M26	34	2	14	3	5	2	-	33	2	5	100 (1, 913)
VII (1983)	K+M	39	4	13	3	4	1	0	32	1	4	100 (4, 429)
	K	39	4	12	3	5	0	0	33	1	3	100 (2, 256)
	M	39	4	13	3	4	1	0	31	1	4	100 (2, 173)

第Ⅰ次調査では、1：自由党と改進黨，3：左右社会党



## § 9 日本人・人種

### # 9.1 日本人の性格（長所）

〔リスト〕つぎのうち、日本人の性質をあらわしていると思うコトバがあったら、いくつでもあげてください？

1 合理的	2 勤勉	3 自由を尊ぶ
4 淡泊	5 ねばり強い	6 親切
7 独創性にとむ	8 礼儀正しい	9 明朗
10 理想を求める	11 その他〔記入〕	12 D.K.

	問	1 合 理 的	2 勤 勉	3 自 由 を 尊 ぶ	4 淡 白	5 ね ば り 強 い	6 親 切	7 独 創 性 に と む	8 礼 儀 正 し い	9 明 朗	10 理 想 を 求 め る	11 あ ひ つ も 他 も	12 D.K.	計  (複数回答)
I (1953)	×													
II (1958)	28 128	11	55	15	19	48	50	8	47	23	33	-	12	(2,369)
III (1963)	32a	8	60	10	15	55	42	7	43	14	24	1	9	(2,698)
IV (1968)	37a	11	61	12	13	58	45	8	47	13	23	1	5	(3,033)
V (1973)	K38a	13	66	9	14	52	31	7	37	9	21	1	6	(3,055)
VI (1978)	×													
VII (1983)	K31	22	69	17	12	61	42	11	47	12	30	1	2	(2,256)

### # 9. 6 日本人・西洋人の優劣

日本人は西洋人にくらべて、ひとくちでいえばすぐれていると思いますか、それとも劣っていると思いますか？

1 すぐれている	2 劣っている
3 同じだ	4 ひとくちではいけない
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 すぐ れて いる	2 劣 っ て い る	3 同 じ だ	4 ひ と く ち で い え な い は	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	25	20	28	14	21	1	15	100 ( 2, 254 )
II (1958)	×							
III (1963)	30	33	14	16	27	1	9	100 ( 2, 698 )
IV (1968)	35	47	11	12	21	1	8	100 ( 3, 033 )
V (1973)	K16	39	9	18	26	1	7	100 ( 3, 055 )
VI (1978)	×							
VII (1983)	K11	53	8	12	21	2	5	100 ( 2, 256 )

### Ⅲ 調査項目一覧表

(全国調査のみをあげる)

§	項 目		全 国										ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)				
§1 基 本 項 目	1.1	性	1	1	101	○	○	K M	K M	K	M	21	
	1.2	年 齢	1	1	101	○	○	K M	K M	K	M	21	
	1.3	学 歴	55	32a	132a	○	○	K M29	K M	K学歴	M学歴	22	
	1.4	職 業	57	31a	131a	○	○	- -	K M	K職業	M職業	23	
	1.4*	職 業 〈1.4をカテゴリーズ〉	-	-	-	-	-	K M30	- -	-	-		
	1.5	住所の市区郡別	} サンプルング台帳より							K	M		24
	1.6	住所の地方別	} サンプルング台帳より							K	M		25
	1.7	おくに (生まれ)	-	33	133	-	-	- -	- -	-	-		
	1.8	帰属階層	-	-	-	-	-	- -	- -	K33	M30	26	
	1.9	所有 (財産)	-	-	-	-	-	- -	- -	K所有	M所有	27	
1.30	騒 音	-	-	-	-	-	- -	- -	-	M29	28		
§2 個 人 的 態 度	2.1	しきたりに従うか	4	7	107	7	8	K11 -	K6 -	K6	M5	29	
	2.2	反対をおしきって 実行	-	27	127	19	21	K27 -	- -	-	-		
	2.2b	スジかまるくか	-	-	-	-	-	- -	K13 -	K27	-	30	
	2.3	幸福か	-	20	-	-	-	- -	- -	-	-		
	2.3b	住所に満足か	2	-	-	-	-	- -	- -	-	-		
	2.3c	家庭に満足か	-	-	-	-	-	M9a -	M5a -	K32a	-	31	
	2.3d	社会に満足か	-	-	-	-	-	M9b -	M5b -	K32b	M19	31	
	2.3f	生活環境満足か	-	-	-	-	-	- -	- -	-	M12	32	
	2.3g	健康状態満足か	-	-	-	-	-	- -	- -	-	M13	32	
	2.4	くらし方	39	22	-	26	31	K34 -	K19 -	K20	M20	33	
2.4*	くらし方 〈2.4の答を変更〉	-	-	-	-	-	- M26	- -	-	-			
2.5	自然と人間との関係	34	15	-	15	17	K23 M20	K16 -	K17	M17	34		
2.6	過去と将来	44	-	-	-	18	K24 -	- -	-	-			
2.7	一番大切なもの	47	29	129	29	34	K41 -	K32 -	K13	-	35		
2.7b	あなたの趣味は	-	-	-	-	-	- -	- -	K12	-	36		

§	項 目		全 国							ページ
	#	見出し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	
§2 個 人 的 態 度	2.8	一生働くか	-	-	-	-	- M 2	K1 -	K2 M1	37
	2.9	ムダにしているか	-	-	-	-	- M 6	- -	- -	
	2.10	幸福かためになる ことか	-	-	-	-	- M11	- -	- -	
	2.11	好きなくらし方か 人のためか	-	-	-	-	- -	- M6	K21a -	38
	2.11b	可能性をためすか	-	-	-	-	- -	- -	K21b -	38
	2.12	他人のためか自分 のためか	-	-	-	-	- -	K27 -	K7 -	39
	2.12b	スキがあれば利用 されるか	-	-	-	-	- -	K28 -	K8 -	39
	2.12c	人は信頼できるか	-	-	-	-	- -	K29 -	K9 -	40
	2.13	将来に備えるか楽 しむか	-	-	-	-	- -	- M7	- -	
	2.30	不安感 重い病気	-	-	-	-	- -	- -	- M25a	41
	2.30b	仕事上の事故	-	-	-	-	- -	- -	- M25b	41
	2.30c	街での暴力	-	-	-	-	- -	- -	- M25c	42
	2.30d	交通事故	-	-	-	-	- -	- -	- M25d	42
2.30e	失 業	-	-	-	-	- -	- -	- M25e	43	
2.30f	戦 争	-	-	-	-	- -	- -	- M25f	43	
2.30g	原子力施設 の事故	-	-	-	-	- -	- -	- M25g	43	
§3 宗 教	3.1	宗教を信じるか	-	16a -	28a	33a	K19a -	K11a -	K15a -	44
	3.1b	宗教名	-	16b -	28a	33a	K19a -	- -	- -	
	3.1c	(宗教)しているこ と	-	- -	28a	33a	K19a -	- -	- -	
	3.2	「宗教心」は大切か	-	16c -	28b	33b	K19b -	K11b -	K15b -	45
	3.3	宗教は1つか	-	17 -	-	-	- -	- -	- -	
	3.4	人々の宗教への態度	-	18 -	-	-	- -	- -	- -	
	3.5	「あの世」を信じる か	-	19 -	-	-	- -	- -	- -	
	3.6	宗教か科学か	37	- -	-	-	- -	- -	K29 -	46
	3.7	性善・性悪	46	- -	-	-	K36 -	- -	- -	
	3.8	自殺やむをえぬか (板ばさみ)	21の1	- -	-	-	- -	- -	- -	
3.8b	〃 (生活苦)	21の2	- -	-	-	- -	- -	- -		
3.9	首相の伊勢参り	14(15)	- 110	10	11	K14 -	K7 -	- M6	47	
3.9*	首相の伊勢参り 〈3.9の答を整理〉	-	- -	-	-	- M4	- -	- -		
3.9b	首相の伊勢参り 〈3.9の答を変更〉	-	- -	-	-	- -	- M19	- -		

§	項 目		全 国								ページ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)					
§4.1 子 供	4.1	子供を使いに出すとき	-	4	-	-	-	-	-	-	-	48		
	4.2	水鉄砲に注意	-	5	-	-	-	-	-	-	-			
	4.3	弟のわがまま	31	-	-	-	-	-	-	-	-			
	4.4	先生が悪いことをした	9	6	-	4	4	K5	-	K4	-		K4	
	4.4b	ウソー先生のうわさ話	-	-	-	-	-	M7a	-	-	-		-	
	4.4c	ウソーつき合い	-	-	-	-	-	M7b	-	-	-		-	
	4.4d	ウソー国内の混乱	-	-	-	-	-	M7c	-	-	-		-	
	4.5	子供に「金は大切」と教える	24の1	-	-	5	5	K6	-	K5	-		K5	M4
	4.5*	子供に「金は大切」と教える	-	-	-	-	-	M10	-	-	-		-	
		〈4.5を2項選択に〉												
	4.6	子供に「メンツは大切」と教える	24の3	-	-	-	-	K8	-	-	-		-	
	4.7	子供に自由と規律	24の4	-	-	-	6	K7	-	-	-		-	
	4.13	就職のとき	-	-	-	-	-	M15a	-	M12a	-		-	
	4.13b	嫁入りのとき	-	-	-	-	-	M15b	-	M12b	-		-	
	4.14	子供の雑誌売り	-	-	-	-	-	-	-	M3	-		-	
4.15	親もテレビに出すべきか	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	-			
§4.2 家	4.8	結婚式・葬式盛大に	17(18)	-	109	9	10	K13	-	-	-	-		
	4.8*	結婚式に金をかける	-	-	-	-	-	M3	-	-	-	-		
		〈4.8の間・答を 変更〉												
	4.9	本家・分家を考えるか	-	-	105	-	-	-	-	-	-	-		
	4.10	他人の子供を養子にするか	28の1	-	106	2	2	K3	-	K3	-	M3		
	4.10b	親類の子供を養子にするか	28の2	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4.11	先祖を尊ぶか	3	-	-	-	-	K20	-	K10	-	K14		
	4.12	有名人の息子のチンドン屋	12(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4.30	家庭はくつろぐ場所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M9		
	4.31	家事や子供の世話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M10		
4.32	離婚すべきでないか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M11			

§	項 目		全 国							ページ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	
§5 身 近 な 社 会	5.1	恩人がキトクのとき	41	- 111a	13a	15a	K21a -	K15a -	K16a M16a	54
	5.1*	恩人がキトクのとき 《5.1の間・答を変更》	-	- -	-	-	- M17a	- -	- -	
	5.1b	親がキトクのとき	42	- 111b	13b	15b	K21b -	K15b -	K16b M16b	55
	5.1b*	親がキトクのとき 《5.1bの間・答を変更》	-	- -	-	-	- M17b	- -	- -	
	5.1c1	入社試験（親戚）	-	- -	20a	22a	K28aM16a	K21a -	K22a M21a	57
	5.1c2	入社試験（恩人の子）	-	- -	20b	22b	K28bM16b	K21b -	K22b M21b	58
	5.1d	大切な道徳	-	- -	17	20	K26 -	K18 -	K19 -	60
	5.1e	「親孝行」戦前との比較	-	- -	18a	-	- -	- -	- -	
	5.1f	「恩返し」戦前との比較	-	- -	18b	-	- -	- -	- -	
	5.1g	「権利尊重」戦前との比較	-	- -	18c	-	- -	- -	- -	
	5.2	恩人のむすこの入社	26	14 114	-	-	- -	- -	- -	
	5.3	出し合う金が高いとき	-	13 -	-	-	- -	- -	- -	
	5.4	目上の誤解の注意	19	- 116	-	-	- -	- -	- -	
	5.4c	目上につかわれるとき	11	- -	-	-	- -	- -	- -	
	5.5	巡査へ口答え	-	- 118	-	-	- -	- -	- -	
	5.6	めんどろをみる課長	35	- 117	21	23	K29 -	K22 -	K23 M22	62
	5.6*	上役とのつき合い 《5.6の間・答を変更》	-	- -	-	-	- M5	- -	- -	
	5.6b	つとめたい会社	-	- -	-	-	- M18	K23 -	- -	
	5.6c	嫌いな旅行-いくべきか	-	- -	-	-	- -	K25a -	- -	
	5.6d	嫌いな旅行-世間では	-	- -	-	-	- -	K25b -	- -	
5.6e	課長-ヨメの世話	-	- -	-	-	- -	K30a -	- -		
5.6f	課長-引越越し	-	- -	-	-	- -	K30b -	- -		
5.6g	課長-居残り	-	- -	-	-	- -	K30c -	- -		
5.6h	他人との仲か仕事か	-	- -	-	-	- -	K14 -	K26 -	63	
5.7	近所・安い・有名な店	36	- -	-	24	- -	- -	- -		
5.8	共同炊事	40	- -	-	25	- -	- -	- -		
5.9	秀吉は若者の手本	6	- -	-	-	K9 -	- -	- -		
5.10	四十七士はよいか	50(51)	- -	-	-	- -	- -	- -		
5.16	三万円の借用書	-	- -	-	26	- -	- M10	- -		
5.17	社会生活で注意しあう	-	- -	-	-	- M12	- M9	- -		

§	項 目		全 国							ペ ー ジ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)				
§5 身 近 な 社 会 つ づ き	5.18	友人のタイプ	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-	
	5.19	議論をつくすか	-	-	-	-	-	M19	-	-	-	-	
	5.19b	議論をつくすか 〈5.19の問・答を変更〉	-	-	-	-	-	-	K20	-	-	-	
	5.20	「自由」は大切か	-	-	-	-	-	M24a	-	-	-	-	
	5.20b	「規律」は大切か	-	-	-	-	-	M24b	-	-	-	-	
	5.20c	「宗教的な心」は 大切か	-	-	-	-	-	M24c	-	-	-	-	
	5.20d	「国を愛するという こと」は大切か	-	-	-	-	-	M24d	-	-	-	-	
	5.20e	「先祖をとうとぶ こと」は大切か	-	-	-	-	-	M24e	-	-	-	-	
	5.20f	「親孝行」は大切か	-	-	-	-	-	M24f	-	-	-	-	
	5.20g	「恩返し」は大切か	-	-	-	-	-	M24g	-	-	-	-	
	5.20h	「お金」は大切か	-	-	-	-	-	M24h	-	-	-	-	
	5.21	課長の選挙違反	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	
5.22	金か人間のつなが りか	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-		
§6 男 女 差 別	6.1	中学校の男女共学	-	-	102	-	-	-	-	-	-	-	
	6.2	男・女の生まれか わり	-	-	103	1a	1a	K1a M1a	-	M1a	K1	-	64
	6.2b	男・女を希望	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.2c	苦勞どちらが多い か	-	-	-	1b	1b	K1b M1b	-	M1b	-	-	
	6.2d	楽しみどちらが多 いか	-	-	-	1c	1c	K1c M1c	-	M1c	-	-	
	6.3	女は家庭か世間か	-	-	104	-	-	-	-	-	-	-	
	6.4	女の仕事は好まし いか	10	-	-	-	-	K2	-	-	-	-	
6.5	男女の能力差	-	-	120	-	-	-	-	-	-	-		

§	項 目		全 国							ページ				
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)					
§7 一 般 の 社 会 的 問 題	7.1	人間らしさはへるか	5	3	-	6	7	K10	-	K2	-	K3	M2	65
	7.2	心の豊かさはへらないか	29	24	-	12	13	K18	-	K12	-	-	M8	66
	7.2b	21世紀の世の中	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-
	7.3	家族・国家中心と個人中心	-	26	126	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.4	日本と個人の幸福	45	-	-	16	19	K25	-	K17	-	K18	M18	67
	7.4b	国の繁栄と国民の生活	-	-	-	-	-	-	-	-	M20	K30	-	68
	7.5	公益と個人の権利	-	-	119	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5*	公益と個人の権利 《7.5の公を公共に》	-	-	-	-	-	-	-	-	M23	-	-	-
	7.5b	公益と個人の権利	-	-	-	23	28	K31	-	-	-	-	-	-
	7.5b*	公益と個人の権利 《7.5bの公を公共に》	-	-	-	-	-	-	M21	-	M17	-	-	-
	7.5c	道路立退き反対運動	-	-	-	-	-	-	M22a	-	-	-	-	-
	7.5d	学校立退き反対運動	-	-	-	-	-	-	M22b	-	-	-	-	-
	7.6	勲章か賞金か	23	9	-	14	16	K22	-	-	-	-	-	-
	7.7	仕事の価値	8	-	108	8	9	K12	-	-	-	-	-	-
	7.8	個人賞金の使い方 (ノーベル)	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.9	ふしだらな科学者	48(49)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.10	公金使いこみの疑い	-	-	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.11	自称・他称の統一	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.12	競輪で教育施設	22	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.13	法律は金持に有利か	-	-	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.13c	法律の精神	-	-	-	22	27	K30	-	-	-	-	-	-
	7.13d	行為か動機か	-	-	-	-	-	-	-	K9	-	-	-	-
	7.14	客がいない車中のタバコ	-	-	122 <sup>a</sup> <sub>b</sub>	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.15	労組をつくるのはよいか	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.16	事故と社長	-	-	-	-	-	-	M13	-	M16	-	-	-
	7.18	人間の健康の面はよくなるか	-	-	-	-	-	-	M27a	-	M25a	-	-	-
	7.18b	心のやすらかさは増えますか	-	-	-	-	-	-	M27b	-	M25b	-	-	-
	7.18c	人間の自由はふえるか	-	-	-	-	-	-	M27c	-	M25c	-	-	-
7.18d	生活は豊かになるか	-	-	-	-	-	-	M27d	-	M25d	-	-	-	
7.18e	幸福になるか	-	-	-	-	-	-	M27e	-	M25e	-	-	-	



§	項 目		全 国							ペ ー ジ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)				
	7.19	才能か運か	-	-	-	-	-	-	M2	-	-		
	7.20	自分の責任か	-	-	-	-	-	-	M11a	-	-		
	7.21	金を貰えばわるい 気はしないか	-	-	-	-	-	-	M4a	-	-		
	7.21b	金があれば墮落す るか	-	-	-	-	-	-	M4b	-	-		
	7.21c	かせいだ金と幸運 の金	-	-	-	-	-	-	M4c	-	-		
§7	7.21d	金にきちょうめん	-	-	-	-	-	-	M4d	-	-		
—	7.21e	無理して金をかせ ぐか	-	-	-	-	-	-	M4e	-	-		
般	7.22	万事金か	-	-	-	-	-	-	M11b	-	-		
の	7.23	事故と先生—本人 の意見	-	-	-	-	-	-	M13a	K28a	-	69	
社	7.23b	事故と先生—一般 の親は	-	-	-	-	-	-	M13b	K28b	-	69	
会	7.24	就職の第1の条件	-	-	-	-	-	-	K24a	-	K25	M23	70
的	7.24b	就職の第2の条件	-	-	-	-	-	-	K24b	-	-	-	
問	7.25	お金と仕事	-	-	-	-	-	-	-	-	K24	-	71
題	7.30a	生活水準10年の変 化	-	-	-	-	-	-	-	-	M14a	-	72
つ	7.30b	日本人の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	M14b	-	72
づ	7.31	今後の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	73
き	7.32	お金とコネがあれ ばよい治療うけら れるか	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	73
	7.33	コンピュータ社会 は好ましいか	-	-	-	-	-	-	-	-	M26	-	74
	7.34	省エネルギーは重 要か	-	-	-	-	-	-	-	-	M27a	-	74
	7.35	環境の保護は重要 か	-	-	-	-	-	-	-	-	M27b	-	75
	7.36	科学上の発見・利用 は生活に役立つか	-	-	-	-	-	-	-	-	M28	-	75

§	項 目		全 国							ペ ー ジ		
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)			
§8 政 治 的 態 度	8.1	政治家にまかせるか	30	12 112	11	12	K15	-	-	-	-	76
	8.1*	政治家にまかせるか	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	
	8.1b	政治家にまかせるか 〈8.1の質問文と 8.1*の答〉	-	-	-	-	-	-	K8	-	K10 M7	
	8.2	「民主主義」はよい 感じか	-	-	123a	-	-	-	-	-	-	
	8.2b	「資本主義」はよい 感じか	-	-	123b	-	-	-	-	-	-	
	8.2c	「自由主義」はよい 感じか	-	-	123c	-	-	-	-	-	-	
	8.2d	「社会主義」はよい 感じか	-	-	123d	-	-	-	-	-	-	
	8.2e	「民主主義」はよい か	-	-	-	27a	32a	K35a	-	-	-	
	8.2f	「資本主義」はよい か	-	-	-	27b	32b	K35b	-	-	-	
	8.2g	「自由主義」はよい か	-	-	-	27c	32c	K35c	-	-	-	
	8.2h	「社会主義」はよい か	-	-	-	27d	32d	K35d	-	-	-	
	8.2i	「共産主義」はよい か	-	-	-	-	-	K35e	-	-	-	
	8.2j	「全体主義」はよい か	-	-	-	-	-	K35f	-	-	-	
	8.3	科学者と政治	-	11	-	-	-	-	-	-	-	
	8.3b	専門の研究と政治	43	-	-	24	29	K32	-	-	-	
	8.4	校長の礼服	-	2	-	3	-	-	-	-	-	
	8.4b	校長の礼服	-	-	-	-	3	K4	-	-	-	
	8.5	社会問題への関心	-	30 130	-	-	-	-	-	-	-	
	8.6	選挙への関心	-	34 134	33	38	K39	-	-	M18	- M31	
8.7	支持政党	58	35 135	35	39	K40 M28	K31 M26	K支持	M支持	M支持	78	
8.8	社会は変えるべき か	-	-	-	-	-	-	K26	-	-		
8.9	社会不満の表し方	-	-	-	-	-	-	-	M24	-		

§	項 目		全 国							ペー ジ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)				
§9 日 本 人 種	9.1	日本人の性格（長所）	-	28 128	32a	37a	K38a	-	-	K31	-	79	
	9.1c	日本人の性格（短所）	-	-	32b	37b	K38b	-	-	-	-		
	9.3	日本の庭・西洋の庭	32	21	-	25	30	K33 M23	-	-	-	-	
	9.3b	パリ・イラン・ニューヨークの建物	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.4	立派な人物	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	
	9.5	日本人・西洋人の残酷	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.6	日本人・西洋人の優劣	25	-	-	30	35	K16	-	-	K11	-	80
	9.7	すぐれた人種	-	-	124	31	36	K37	-	-	-	-	
	9.8	人種の能力差	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	
	9.9	日本の立場	-	-	113	-	-	-	-	-	-	-	
	9.10	国旗をあげること（鏡技）	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.10b	国旗をあげること（鏡技）	-	-	-	-	-	K17	-	-	-	-	
	9.12	日本の「科学技術の水準」	-	-	-	-	-	M25a	-	M22a	-	-	
	9.12b	日本の「芸術」	-	-	-	-	-	M25b	-	M22b	-	-	
	9.12c	日本の「経済力」	-	-	-	-	-	M25c	-	M22c	-	-	
9.12d	日本の「生活水準」	-	-	-	-	-	M25d	-	M22d	-	-		
9.12e	日本の「心の豊かさ」	-	-	-	-	-	M25e	-	M22e	-	-		
9.13	日本文化の国際化	-	-	-	-	-	-	-	M21	-	-		

Research Report  
General Series No. 60

A STUDY OF THE JAPANESE  
NATIONAL CHARACTER

—THE SEVENTH NATION WIDE SURVEY—

Research Committee  
on the Study of the Japanese National Character.

TÔKEI SÛRI KENKYÛZYO

Institute of Statistical Mathematics  
4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,  
Tokyo, Japan-106